

3DEXPERIENCE Works 製品

プラットフォーム初回ログインガイド

R2025x FD01



3DEXPERIENCE®

キヤノン IT ソリューションズ株式会社

目次

はじめに.....	2
1. 環境確認.....	3
2. プラットフォーム 管理者初回アクセス.....	7
3. プラットフォーム ユーザー招待ライセンス設定	10
4. プラットフォーム ユーザー初回アクセス.....	17
5. ネイティブ・アプリケーションのインストール	19
付録 - 「共有とマークアップ」利用ガイド.....	39

はじめに

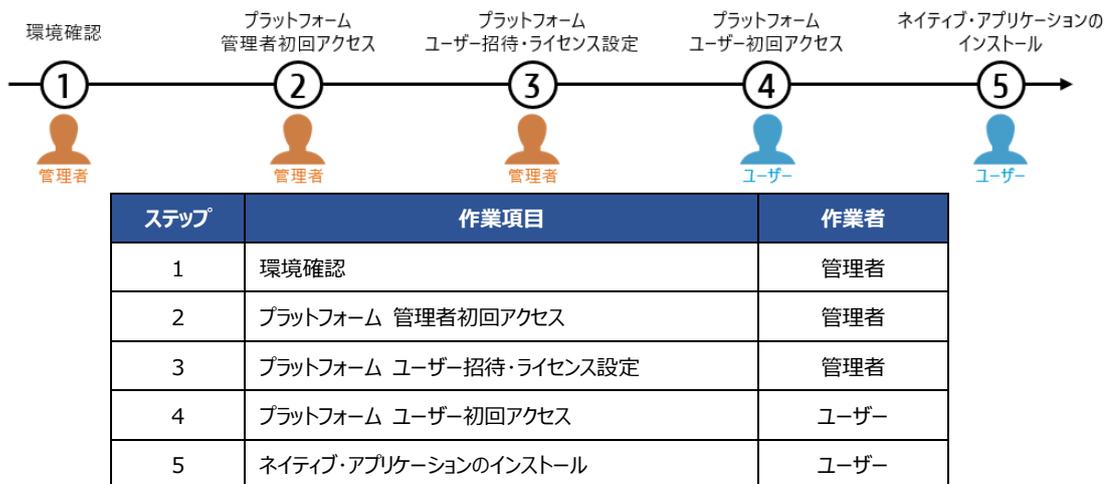
3DEXPERIENCE Works 製品プラットフォーム初回ログインガイドは、プラットフォームへの初回ログインに必要な作業項目と手順をまとめたドキュメントです。ここでは、3DEXPERIENCE プラットフォームの利用開始に必要な作業項目を紹介します。

作業項目 と ドキュメント

3DEXPERIENCE Works 製品のご利用にあたり、3DEXPERIENCE プラットフォームへのログインが必要となります。プラットフォーム管理者とユーザーの初回ログインは次のステップ-1~4 で実施します。

本ドキュメントを参照して初回ログインを実施してください。

また、SOLIDWORKS Desktop CAD、3DEXPERIENCE SOLIDWORKS をご利用になられる際は、ステップ 5-ネイティブ・アプリケーションのインストールを実施してください。



◇ ユーザーのプラットフォーム初回アクセスが失敗する場合は、ユーザーの端末で環境確認を行い、必要な対応を実施してください。

YouTubeでも「プラットフォームの初回ログイン」に必要な作業手順を紹介していますので、是非ご視聴ください。

<https://youtu.be/pZsAhR8844A?si=Sbe0VMCbWeXKf0QJ>



ここでは、3DEXPERIENCE プラットフォーム・オン・クラウドとご使用の環境の互換性を検証するためのツール
クラウド適正確認ツール(CloudEligibility.exe)の利用手順を紹介します。

クラウド適正確認ツールは、Windows 上で実行され、適切な結果を得るためにインターネットへのアクセスを必要とします。クラウド適正確認ツールはさまざまなチェックを実行し、3DEXPERIENCE プラットフォーム・オン・クラウドを利用する準備ができていますかどうか確認できます。

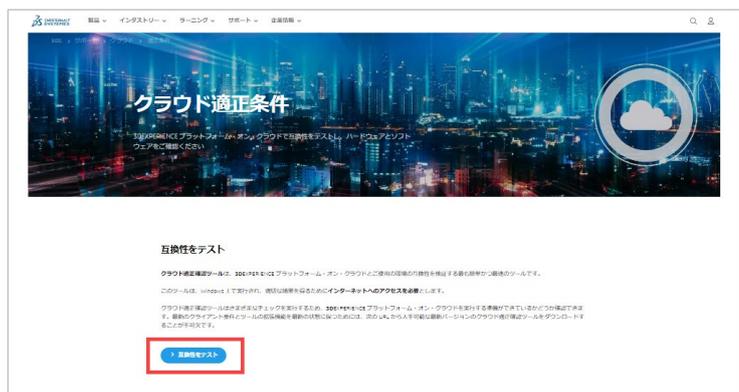
製品の購入前に 3DEXPERIENCE Works 製品をご利用になられる全ての Windows 端末でクラウド適正確認を実施することを推奨します。

1. クラウド適正確認ツールのダウンロード

- 1) [こちら](#)のリンクより、クラウド適正確認ツールのダウンロードサイトへアクセスします。

<https://www.3ds.com/ja/support/cloud/eligibility>

- 2) サイト内の“互換性を検証”をクリックします。



- 3) ツールのダウンロード時に 3DEXPERIENCE ID の入力を求められます。

既に 3DEXPERIENCE ID を**お持ちの場合**

- ① “ID”を入力し、②“続行”をクリック
- ③ “パスワード”を入力し、④“ログイン”をクリック



3DEXPERIENCE ID を**お持ちでない場合**

“アカウントを作成”をクリック



3DEXPERIENCE ID の作成方法は次ページで紹介しております。

クラウド適正確認ツール CloudEligibility.exe のダウンロードが開始されます。

ダウンロードが終了したら、2. クラウド適正確認ツールの実行に進みます。

【3DEXPERIENCE ID の作成方法】

*印の付いた項目を入力/選択し、“登録”をクリック

クラウド適正確認ツール **CloudEligibility.exe** のダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了したら、**2. クラウド適正確認ツール**に進みます。

電子メール*

ユーザー名*

名*

姓*

パスワード*

パスワードを確認*

国*

国を選択してください

プライバシーポリシーの内容に同意します*

Dassault Systemes およびそのパートナーから、電子メールでニュースレターを受け取ることに同意します

登録

ログイン

日本語 ~

[助けが必要ですか?](#)

2. クラウド適正確認ツールの実行

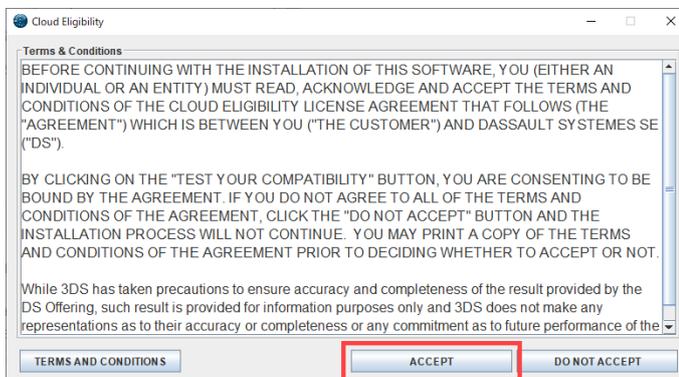
⚠ ここでの操作は、Windows システム管理者として実行する必要があります。

⚠ インターネットにアクセスできる権限があることをご確認ください。

- 1) ダウンロードした**“CloudEligibility.exe”**をダブルクリックし、プログラムを起動します。

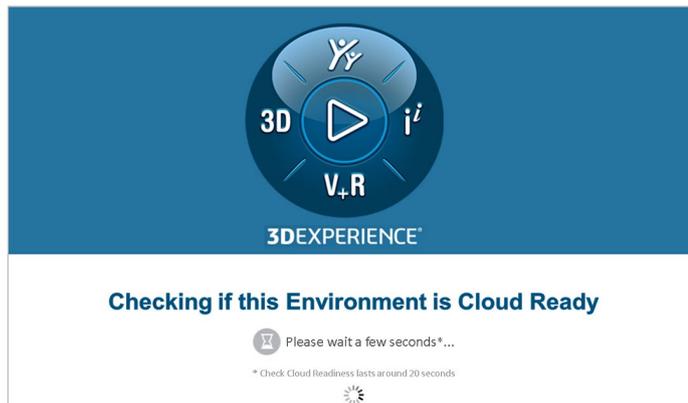


- 2) Terms & Conditions 画面にて**“Accept”**をクリックします。



Checking if this Environment is Cloud Ready が表示され、互換性の検証が開始されます。

検証は 20 秒程で完了します。



検証が完了するとインターネットブラウザが起動し、検証結果が表示されます。

結果の確認方法と対応については次ページを参照ください。

実行結果の確認と対応

3DEXPERIENCE Works 製品を利用するためには、予め次の図に示す **緑色** 網掛け項目のステータス(Status)を OK(✓)とする必要があります。

3DEXPERIENCE Works 製品の利用開始までに **緑色** 網掛けの項目が全て OK(✓)となるよう、環境をご準備ください。(ご自身で設定変更できない際は、社内の IT 担当者にご相談うえ、設定変更を行ってください。)

緑色 の網掛け項目：OK(✓)である必要があります。

※SOLIDWORKS を利用しない端末においては、図の項目①が NG(X)であっても問題ありません。

灰色 の網掛け項目：NG(X)であっても問題ありません。

NG(X)項目の修正方法につきましては、[3DEXPERIENCE-Platform-on-cloud-Upgrade-Guide.pdf](#) をご確認ください

CloudEligibility.exe 実行結果画面

Machine Name	Download		
We have detected 3DEXPERIENCE Open Apps on your system, hence check for 3DEXPERIENCE Open Software is enabled! Please note this check is specific to the 3DEXPERIENCE Open Software provided by Dassault Systèmes!			
Environment Configuration			
Check	Expected Prerequisites	Current Results	Status
① Hardware and Software Configurations	Certified Workstations AVX extensions are required on CPU 3DEXPERIENCE Support Policy on Windows 11 3DEXPERIENCE Support Policy on Windows 10	Manufacturer and Model: LENOVO ThinkPad P14s Gen 4	✓
		AVX extensions are supported for CPU	✓
		Operating System: Windows 11 Enterprise 64-bit Version: 22H2	✓
		Graphic Card Name: NVIDIA RTX A500 Laptop GPU	✓
		Graphic Card Driver Version: 538.09	✓
② Browser	Web client requirement Please refer to 3D web apps section where it is recommended that your browser should be using high performance graphic card. Browser version requirement (at least one browser should be compatible)	Your browsers are using high performance graphic card.	✓
		Browser Name: Mozilla Firefox Browser Version: 103.0.0 Version is compliant Browser Name: Google Chrome Browser Version: 134.0.6990.199 Version is compliant Browser Name: Microsoft Edge Browser Version: 134.0.3124.51 Version is compliant	✓
③ Network Performances	Bandwidth and Latency Considerations: Bandwidth should be > 4 Mbps Latency should be < 350 ms	Network Performance computation results from "Japan" Geo Datacenter are as follows: Network latency and bandwidth values are as expected Bandwidth: 133.47 Mbps Latency: 25.1 ms.	✓
④ Connection to Cloud Environment	Connection to 3DEXPERIENCE platform on the cloud must be successful	3DEXPERIENCE Passport Service is accessible In order to use any 3DEXPERIENCE platform services or applications (ex: 3DMessaging, 3DNotification, SIMULIA applications...) relying on a secure web socket connection, please ensure that secure web socket connection is allowed for 3ds.com on Port 443.	✓ ⓘ
⑤ Connection to Dassault Systèmes License Server (DLS)	Connection to DLS must be successful	Connection to DLS succeeded	✓
⑥ 3DEXPERIENCE Launcher Configuration	Proxy Configuration If you need to use Proxy, ensure that "dslauncher.3ds.com" is set as an exception (at least one browser should be compatible) Internet options setup Ensure that below settings are done in browser: -Enable Enhanced Protected Mode* must be disabled -Use TLS 1.2* must be enabled Access to Download Links It is recommended to ensure that the access for download links is not restricted by firewall Port Configuration At least one of the following three ports used by default by the 3DEXPERIENCE Launcher must be available/accessible: 20250, 33150, 44550 Firewall Setup Following programs must be allowed through your Windows Firewall: -3DEXPERIENCELauncher.exe and -3DEXPERIENCELauncherBackbone.exe Native Apps should be installed and must be up to date with 3DEXPERIENCE platform on the cloud release.	No browser has been found	✓
		What to do? You can download and install a browser according to the Support policy for browsers	✓
		"Enable Enhanced Protected Mode" is disabled by default	✓
		"Use TLS 1.2" is enabled	✓
⑦ Installations	When upgrading/updating 3DEXPERIENCE platform on the cloud, it is recommended to remove all the previous Native Apps installation present on your machine and to cleanup your system	Ensure that the access for download links documented within QA00000290516 is not restricted by firewall.	ⓘ ✓
		At least one of three ports (potentially used for HTTP) is available/accessible	✓
		Windows Firewall is disabled	✓
		Native Apps installation is corresponding to level 3DEXPERIENCE R2025v F001 (Hotfix: 1.11) and is up to date Previous versions of V6 3DEXPERIENCE installations (older than 3DEXPERIENCE R2025v) are not present on client machine	✓ ✓

オペレーティングシステムは Windows10 または 11 64bit 版に限られます。(全てのエディションに対応)

サポートブラウザは、Mozilla Firefox もしくは、Google Chrome、Microsoft Edge となります。これらのブラウザがインストールされていない際は、最新バージョンのブラウザをインストールしてください。

ネットワークの帯域幅と待ち時間は次が最小値になります。
- 帯域幅 > 4 Mb/s
- 待ち時間 < 350 ms

プラットフォームへのインターネット接続判定ポート 443 で 3ds.com ドメインに対し WebSocket 接続が許可されていることを確認してください。

ライセンスサーバーへのインターネット接続判定

プロキシを経由し、外部のインターネットにアクセスしている際は、プロキシで "dslauncher.3ds.com" を例外に設定してください。

ブラウザで次の設定が行われていることを確認してください。
- 「拡張保護モードを有効にする」を無効化
- 「TLS 1.2 を使用する」を有効化

次のダウンロード リンクへのアクセスがファイアウォールによって制限されていないことを確認してください。
- *.3ds.com
- *.outscale.com
- *.amazonaws.com

3DEXPERIENCE Launcher アプリが使用する次のローカルポートが利用可能である必要があります。
- 20250, 33150, 44550 (いずれか一つ)

Windows ファイアウォールでのプログラム許可
- 3DEXPERIENCELauncher.exe
- 3DEXPERIENCELauncherBackbone.exe

3DEXPERIENCE の旧バージョンアプリケーションや V6 アプリケーションがインストールされていると NG(X) となります。これらのアプリケーションをアンインストールして下さい。

2. プラットフォーム 管理者初回アクセス



ここでは、3DEXPERIENCE Works 製品の初回プラットフォームアクセスに必要な作業手順を紹介します。
ご注文頂いた 3DEXPERIENCE Works 製品の初回受注処理が完了すると Dassault Systèmes より、「**3DEXPERIENCE Platform の準備ができました**」メールがお客様テナント管理者宛てに送信されます。製品の利用開始にあたりメール内に記載のリンクより初回プラットフォームアクセスを実施してください。

△注意

必ずテナント管理者となる方が初回プラットフォームアクセスを実施ください。
誤ってテナント管理者以外の方が初回アクセスを行うと、30日間ライセンス利用者を変更することができません。
あなたがテナント管理者でない(他の方がテナント管理者になる)場合は、テナント管理者となる方にこのメール転送してください。

1. 初回 3DEXPERIENCE プラットフォームアクセス

- 1) 3DEXPERIENCE Platform の準備ができました メールを開き内容を確認します。
- 2) メール内①3DEXPERIENCE Platform を起動する をクリックします。

3DEXPERIENCE Platform の準備ができました
トランプレションドキメント

ステップ 1: 始める前に

1. あなたが指定されたプラットフォーム管理者であることを確認してください。そうでない場合は、このメールを適切な人に転送してください。このライセンスは初期ユーザーに30日間ロックされます。
2. プラットフォーム管理者として、販売代理店が既に共有している CLOSA (Indirect) - Japan - Japanese - V13.1.2 を承認いただく必要があります。上記の契約をお読みになるか、または共有して、指図によって変更可能な内容であり、それを承諾する権限があなたにあることを確認してください。詳細については、このメールの最後にある CLOSA についてをご参照ください。

ステップ 2: プラットフォームにアクセスする

① 3DEXPERIENCE Platform を起動する

1. 上のボタンをクリックし、3DEXPERIENCE ID でログインします。詳細を見る。
2. プラットフォーム管理者ロールと CLOSA の権利を承諾すると、プラットフォームが初期で開きます。
3. その後、プラットフォームへの永続的な直達リンクが記載された「Getting Started」メールが 3DEXPERIENCE Platform から送信されます。上のボタンのリンクは初回アクセスのために用意されたもので、輸入リンクをクリックすることでアクセスできます。次の一時的なリンクを使用してログインすることもできます: www.solidworks.com/pro-cloud

ステップ 3: ロールを割り当てて使用を開始する

- メンバーの招待方法、ロールとアプリケーションの付与方法など、プラットフォームの管理と使用に関する情報については、オンボディング ページをご覧ください。
- 使用開始の方法やロールとアプリケーションの詳細については、3DEXPERIENCE Works リソースをご覧ください。(ログインが必要です)
- SOLIDWORKS ロールを付与した後は、3DDashboard のロールのチェックを確認することをお勧めいたします。3DEXPERIENCE Platform で SOLIDWORKS アプリケーションを最大限に活用するためのビデオヒントが掲載されています。

サポートが必要ですか? サポートページをご覧ください。その他に不明な点がある場合は、必要に応じて Dassault Systèmes に連絡するなど、ユーザーに最適なサポート方法を販売代理店にご案内します。

CLOSA (クラウド ライセンスおよびオンライン サービス契約) について

プラットフォーム管理者として、販売代理店が既に共有している CLOSA (Indirect) - Japan - Japanese - V13.1.2 に承認いただく必要があります。

- 参照されている Web リンク (契約) を含め上記の契約を、ご確認いただくか、共有してください。
- 本契約が変更可能な内容であり、承諾する権限があなたにあることを確認してください。以下に示す 3DS Offering への初回のアクセスには、本契約の承諾が必要です。
- 本契約は、3DEXPERIENCE Platform での 3DS Offerings の追加購入も対象となります。
- 契約内容が変更された場合は、[redacted] に通知され、3DS Offering の使用を継続する前に、更新された契約に承認いただく必要があります。

何卒よろしくお問い合わせ申し上げます。
Dassault Systèmes, 3DEXPERIENCE Company

オーダーの詳細

Type	Short Ref	Product Number	Product Name	Portfolio	Release	Licensing Scheme	Pricing Structure	Qty

- 3) 3DEXPERIENCE プラットフォームへのログイン画面が表示されたら、①3DEXPERIENCE ID を入力し、②続行をクリックします。

3DEXPERIENCE

3DEXPERIENCE Platform によるこそ

サインインして続行

電子メールまたはユーザー名

①

② 続行

まだアカウントを持っていない場合 アカウントを作成
パスワードを忘れた場合

日本語 ヘルプ Cookie を管理する

続いて③パスワードを入力し、④ログインをクリックします。

□ 3DEXPERIENCE ID をお持ちでない場合

- **アカウントを作成** をクリックし、①～⑦の**情報を入力・選択**し、⑧**登録**をクリックします。

※登録をクリックし、しばらくするとお客様宛に「アカウント承認」メールが届きますので、承認処理を実施してください。

□ 3DEXPERIENCE ID をお持でパスワードを忘れた場合

- **パスワードを忘れた場合** をクリックし、①電子メールアドレスと②を入力し、③**続行**をクリックします。
- 入力した電子メールアドレス宛に「パスワードのリセット」メールが送信されますので、メール内のリンクより、パスワードの再設定を実施してください。

※パスワードの再設定を実施した際は、2分程経過してから 3DEXPERIENCE プラットフォームへのログインを実施してください。

4) ログインを行うと、3DEXPERIENCE platform によろこ 画面が表示されます。

- あなたがテナント管理者の場合は、**管理者になる**をクリックします。
- あなたがテナント管理者でない場合は、**ログアウト**をクリックし、テナント管理者になる方へ

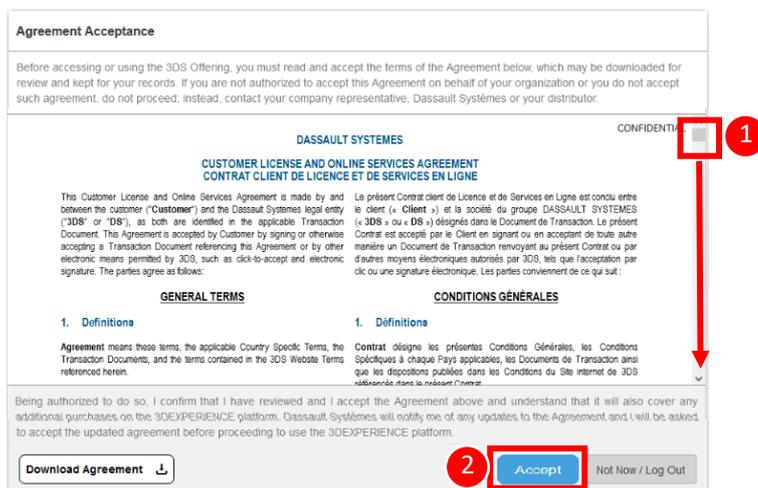
Action Required : Your 3DEXPERIENCE platform is ready メールを転送してください。



5) “管理者になる”をクリックすると Agreement Acceptance ウィンドウが表示されます。

- ① **スライダバー**を下げて内容を確認し、②**Accept** をクリックします。

※スライダバーを最下部まで下げると Accept ボタンが有効になります。



6) 3DEXPERIENCE プラットフォームへのアクセスが開始され、Platform Management ダッシュボードが表示されます。



以上で 3DEXPERIENCE プラットフォームへの初回アクセス作業は完了です。

- ◇ 次回以降の 3DEXPERIENCE プラットフォームへのアクセスのために、ブラウザのブックマーク機能でブックマーク追加をおこなってください。
- ◇ 他メンバーのプラットフォーム招待やライセンス(ロール)付与については、次章「3. プラットフォーム ユーザー招待ライセンス設定」をご参照ください。

3. プラットフォーム ユーザー招待ライセンス設定



ここでは、プラットフォームで共同作業を行うユーザーの招待とユーザーへのロール(ライセンス)割当て、招待済みユーザーのロール編集や権限変更について紹介します。

△ ここでの操作は、プラットフォームの管理者権限を持ったユーザーで実施します。

1. 3DEXPERIENCE プラットフォームへのログイン

1) インターネットブラウザにて、3DEXPERIENCE プラットフォームにアクセスします。

3DEXPERIENCE プラットフォームの URL が分からない場合は、インターネットブラウザのアドレスバーに次の URL を入力し、アクセスしてください。

<https://www.solidworks.com/3dx>

2) 3DEXPERIENCE ID を利用してログインします。

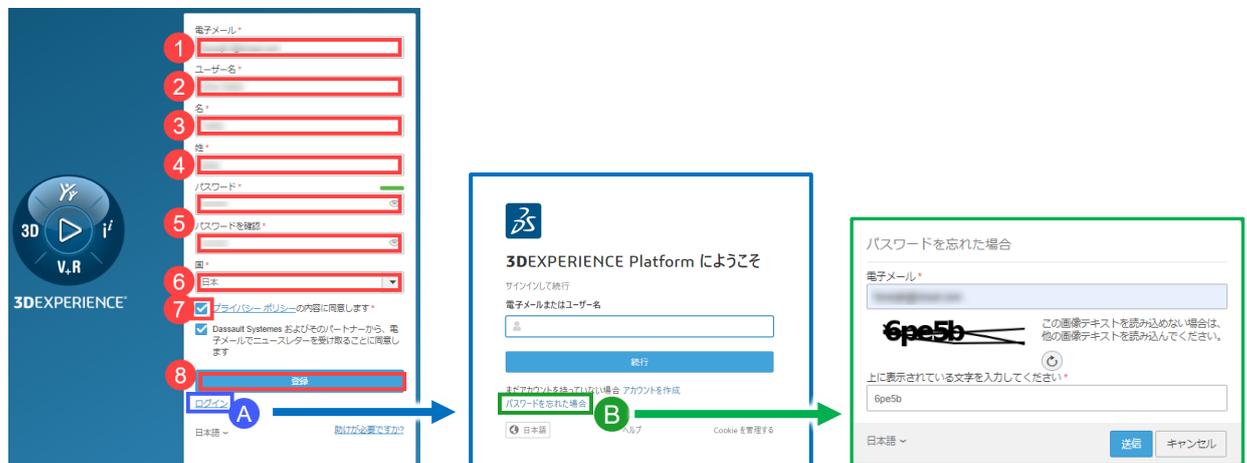
□ 3DEXPERIENCE ID をお持ちでない場合は、①～⑦の情報を入力・選択し、⑧登録をクリックします。

※登録をクリックし、しばらくするとお客様宛に「アカウント承認」メールが届きますので、承認処理を実施してください。

□ 既に 3DEXPERIENCE ID をお持ちの場合は、A をクリックし、ログインを実施してください。

□ 既に 3DEXPERIENCE ID をお持ちでパスワードを忘れた場合は、B をクリックし、パスワードの再設定を実施してください。

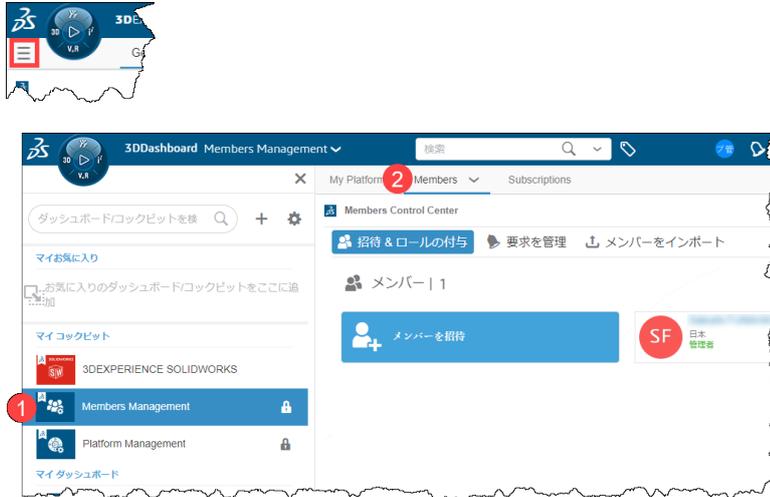
※パスワードの再設定を実施した際は、2 分程経過してから 3DEXPERIENCE プラットフォームへのログインを実施してください。



2. プラットフォームへの新規ユーザー招待とロール割当て（複数ユーザーで利用の際は必須）

1) Members Control Center へのアクセス

≡ ダッシュボードとコックピットのリストをクリックし、①Members Management > ②Members タブをクリックします。



2) メンバーの招待

Members Control Center の①招待&ロールの付与タブで②メンバーを招待をクリックします。



電子メールアドレスの入力とユーザー権限の設定

- ① ユーザーの電子メールに招待するメンバーのアドレスを入力します。
- ② ユーザー権限を 3 種類より選択します。

管理者：Platform Manager ロールが付与され、プラットフォーム管理メニューへアクセスできます。

メンバー：プラットフォームの一般ユーザー権限です。プラットフォーム管理メニューへのアクセスはできません。

外部ユーザー：コラボレーションスペースやコミュニティへのアクセスが制限されます。プラットフォーム管理メニューへのアクセスはできません。

- ③ 次へをクリックします。

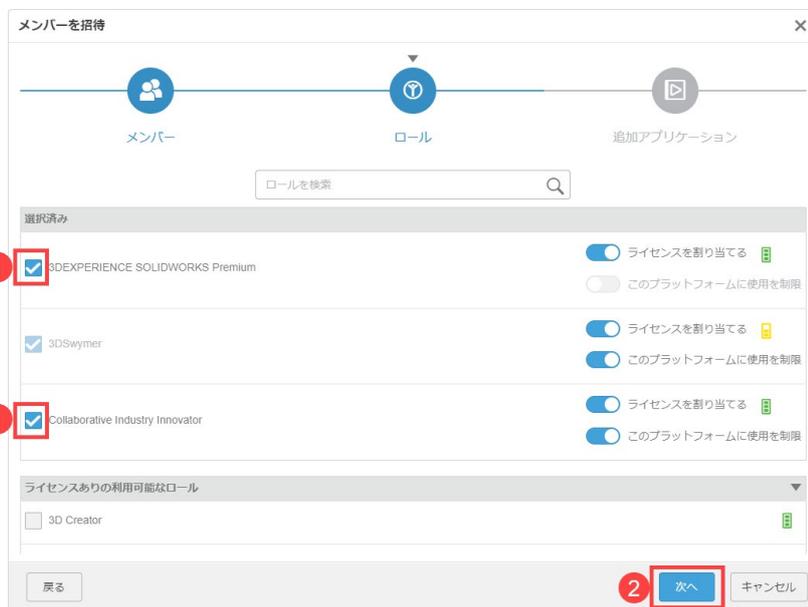
A screenshot of the 'メンバーを招待' (Invite Member) dialog box. It has three tabs: 'メンバー' (Members), 'ロール' (Roles), and '追加アプリケーション' (Add Applications). The 'メンバー' tab is active. The 'ユーザーの電子メール' (User's email) field contains 'test@test.com' and is highlighted with a red circle and '1'. Below it, the 'ユーザー権限' (User permissions) dropdown menu is set to 'メンバー' and is highlighted with a red circle and '2'. The 'ユーザーの場所' (User's location) dropdown menu is set to '東京 (デフォルト)'. At the bottom right, the '次へ' (Next) button is highlighted with a red circle and '3'.

3) ロールの割当て

ロール割当ての前に次の点にご注意ください。

△ ユーザーに割当てたロールがロールの開放期限に満たない場合は、解除できません。
また、最終のログアウトから 2 時間経過するまで解除できません。

① 割当てするロール(ライセンス)の**チェックボックス**を☑ONにし、②**次へ**をクリックします。



- 💡 3DSwymer ロールは、プラットフォームにアクセスするための必須ロールです。
- 💡 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS や Collaborative Designer for SOLIDWORKS ロールを利用する際は、Collaborative Industry Innovator ロールが前提ロールとして必要です。
- 💡 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS を利用するユーザーは、3DEXPERIENCE SOLIDWORKS を☑ON に設定します。

4) 追加アプリケーション

① **招待する**をクリックします。



- 💡 “招待する”をクリックすると、ユーザーにプラットフォームの招待メールが送信されます。

招待したユーザーが 3DEXPERIENCE プラットフォームにアクセスするための手順を次章「4. プラットフォーム ユーザー初回アクセス」で説明しておりますので、招待ユーザーにご案内ください。

以上で新規ユーザーの招待とロール割当ては完了です。

参考：ユーザーのロール追加と解除

プラットフォーム既存ユーザーのロールを追加/削除する際は、次の手順で実施します。

1) Members Control Center へのアクセス

☰ダッシュボードとコックピットのリストより、①**Members Management** > ②**Members** タブをクリックします。

ロールを編集するメンバーの③**詳細**をクリックします。



2) ロールの追加と解除

追加/解除したいロール単位でチェックボックスの ON/OFF を切り替えます。

ロールの追加：①**すべて表示**を選択し、追加するロールの**チェックボックス**を☑ON にします。

ロールの解除：②**付与されたロールを表示**を選択し、解除するロールの**チェックボックス**を☐OFF にします。

💡 3DSwymer ロールは**設定**タブで**アクセスを除去**したうえで、**メンバーを除去**することで解除できます。

💡 🔒 が表示されているロールは、ロールの開放期限に満たないため、解除できません。



参考：ユーザー権限の変更

プラットフォーム既存ユーザーの権限を変更する際は、次の手順で実施します。

1) Members Control Center へのアクセス

☰ダッシュボードとコックピットのリストより、①**Members Management**をクリックし、続けて②**Members**タブをクリックします。

ロールを編集するメンバーの③**詳細**をクリックします。



2) ユーザー権限の変更

① ▼より変更したい権限を選択します。



参考：ユーザーのアクセス権を除去

既存ユーザーのアクセス権を除去することでプラットフォームへアクセスできなくすることができます。

△ ユーザーのアクセス権を除去してもユーザーに付与されたロールは解除されません。必要に応じてロールの解除を実施してください。

1) Members Control Center へのアクセス

≡ダッシュボードとコックピットのリストより、①**Members Management** > ②**Members** タブをクリックします。

ロールを編集するメンバーの③**詳細**をクリックします。



2) アクセス権を除去

① **設定**タブをクリックし、②**アクセス権を除去**をクリックします。



参考：ユーザーの除去

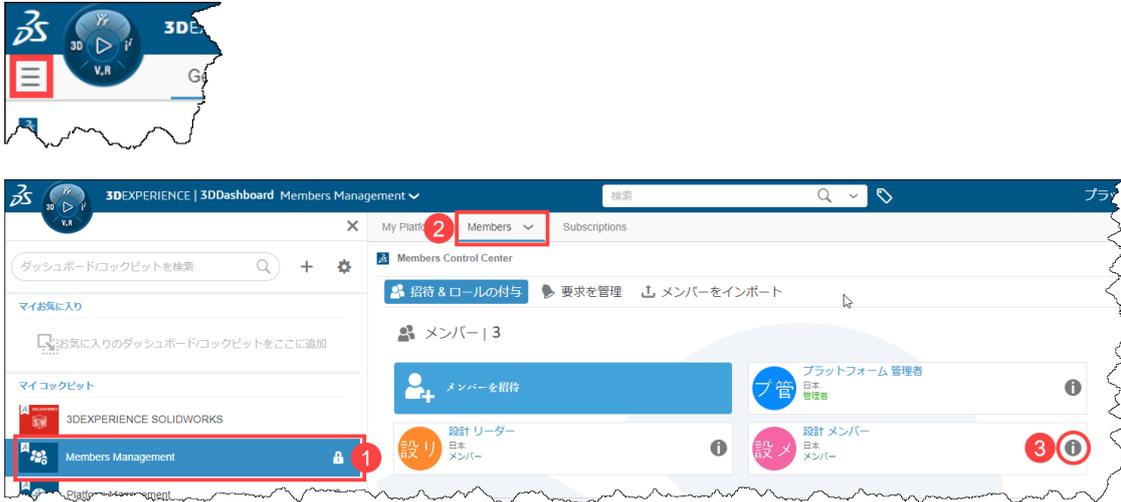
ユーザーを除去することで、そのユーザーはプラットフォームから完全に除去されます。

△ ユーザーを除去する前にユーザーに付与しているロールを解除してください。

△ ロールへのアクセスからロールの開放期限に満たない場合はユーザーを削除することはできません。開放期限に達してから削除を実施してください。

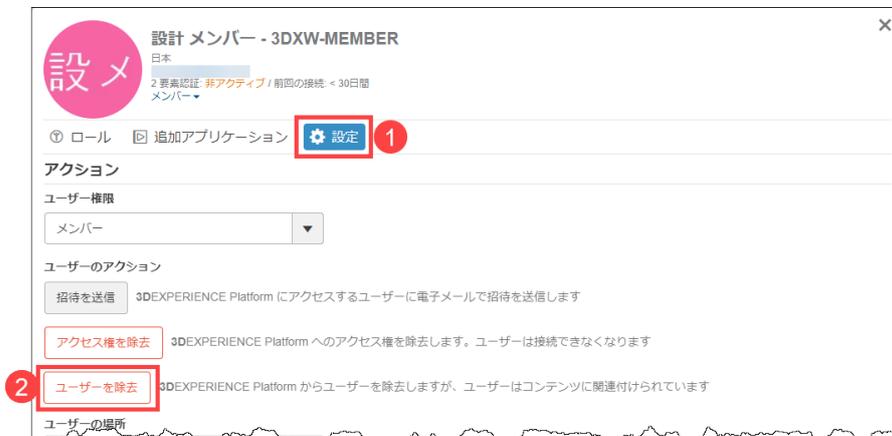
1) Members Control Center へのアクセス

☰ダッシュボードとコックピットのリストより、①**Members Management** > ②**Members** タブをクリックします。
ロールを編集するメンバーの③**詳細**をクリックします。



2) ユーザーの削除

① **設定**タブをクリックし、②**ユーザーを除去**をクリックします。



4. プラットフォーム ユーザー初回アクセス

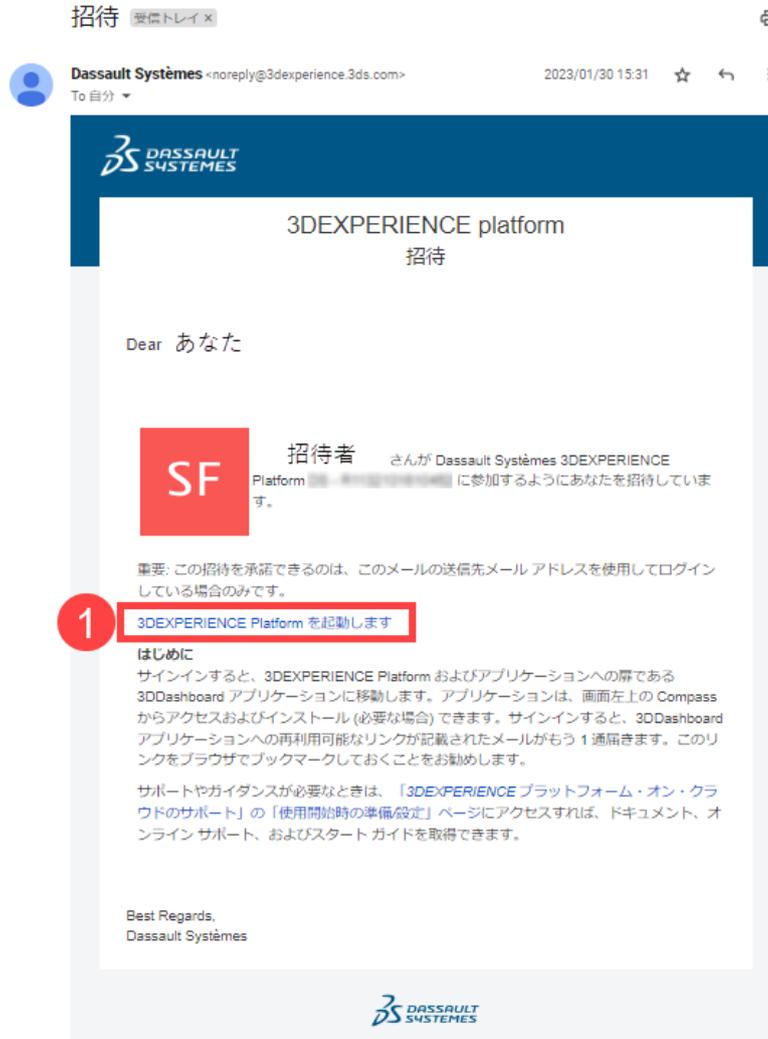


1. プラットフォーム招待メールの受信

1) 3DEXPERIENCE プラットフォームの管理者がユーザーを招待すると次の電子メールが届きます。

件名:招待

送信者:Dassault Systèmes <noreply@3dexperience.3ds.com>



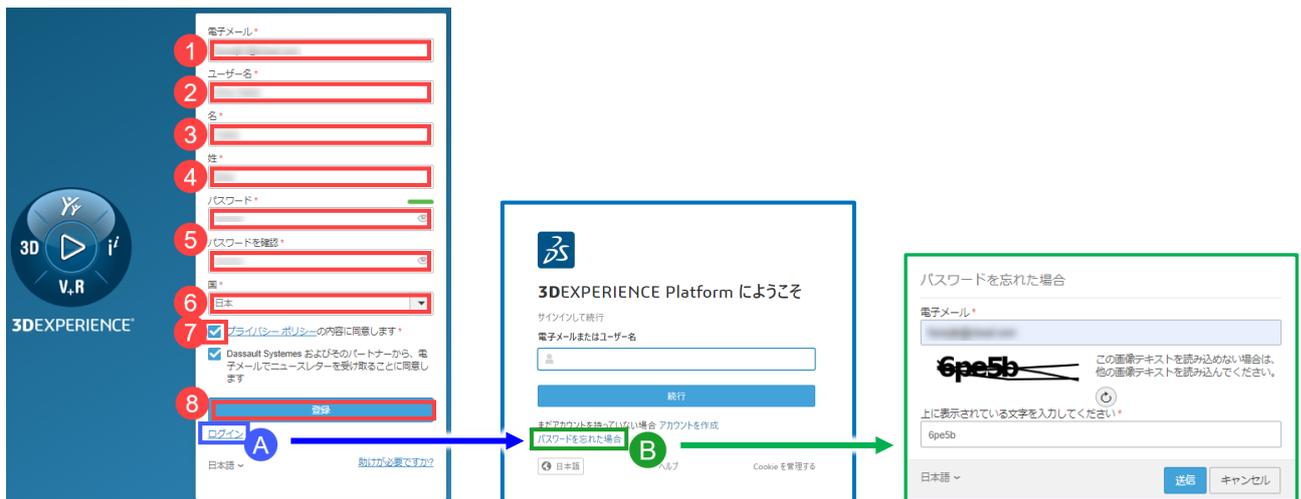
※Customer Consent メールが届いていない際は次をご確認ください。

- メールソフトの検索機能で、“@3ds.com”で検索を行い確認する。
- メールソフトの迷惑メールフォルダに Customer Consent メールがないか確認する。
- メールサーバーで“@3ds.com”ドメインからのメールがブロックされていないかをご確認ください。(IT 担当者へのご確認が必要です。)

2) 電子メール内の①**3DEXPERIENCE Platform を起動します**をクリックします。

2. 3DEXPERIENCE プラットフォームへのログイン

- **3DEXPERIENCE ID をお持ちでない場合は**、①～⑦の情報を入力・選択し、⑧登録をクリックします。
※登録をクリックし、しばらくするとお客様宛に「アカウント承認」メールが届きますので、承認処理を実施してください。
- 既に**3DEXPERIENCE ID をお持ちの場合は**、Aをクリックし、ログインを実施してください。
- 既に**3DEXPERIENCE ID をお持ちでパスワードを忘れた場合は**、Bをクリックし、パスワードの再設定を実施してください。
※パスワードの再設定を実施した際は、2分経過してから3DEXPERIENCEプラットフォームへのログインを実施してください。



3. ブックマークの登録

次回以降の 3DEXPERIENCE プラットフォームログインのために、インターネットブラウザにブックマークを登録してください。



◇ 以上で 3DEXPERIENCE プラットフォームへの初回ログインは完了です。

目次

はじめに.....	20
1. 3DEXPERIENCE Launcher のインストール	20
2. Design with SOLIDWORKS または SOLIDWORKS Connected のインストール	24
2-1. Design with SOLIDWORKS のインストール	26
2-2. SOLIDWORKS Connected のインストール	27
3. Simulation 製品のライセンスアクティブ化.....	31
4. SOLIDWORKS Simulation のインストール.....	34
5. SOLIDWORKS Connected への SOLIDWORKS PDM のアドイン	37
5-1. SOLIDWORKS PDM もしくはその他のデータ管理ツールでの運用を選択する場合	37
5-2. 3DEXPERIENCE platform 上のデータ運用を考えている場合	38

はじめに

3DEXPERIENCE Work には、Web ブラウザからアクセスできる Web アプリケーション（またはウィジェット）と、CAD ワークステーションにインストールして起動するネイティブ・アプリケーションがあります。本ドキュメントは以下のネイティブ・アプリケーションのインストール手順を説明します。

- Design with SOLIDWORKS
- SOLIDWORKS Connected
- SOLIDWORKS Visualize Connected
- SOLIDWORKS Simulation
- SOLIDWORKS Motion

また、ネイティブ・アプリケーションを起動するには、3DEXPERIENCE Launcher が必要です。ネイティブ・アプリケーションをインストールする前に、3DEXPERIENCE Launcher をインストールする必要がありますので、こちらのインストール手順も説明します。

- 3DEXPERIENCE Launcher

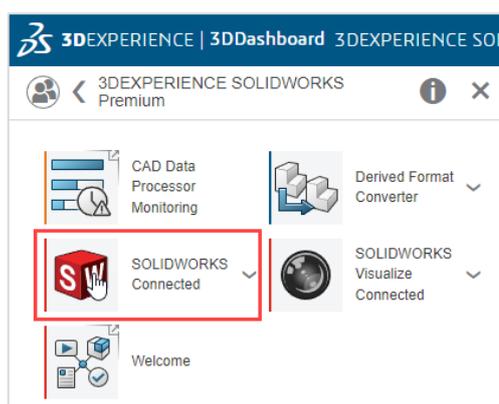
1. 3DEXPERIENCE Launcher のインストール

ネイティブ・アプリケーションをインストールする際に、まだ 3DEXPERIENCE Launcher がインストールされていない場合は、3DEXPERIENCE Launcher のダウンローダーが起動します。

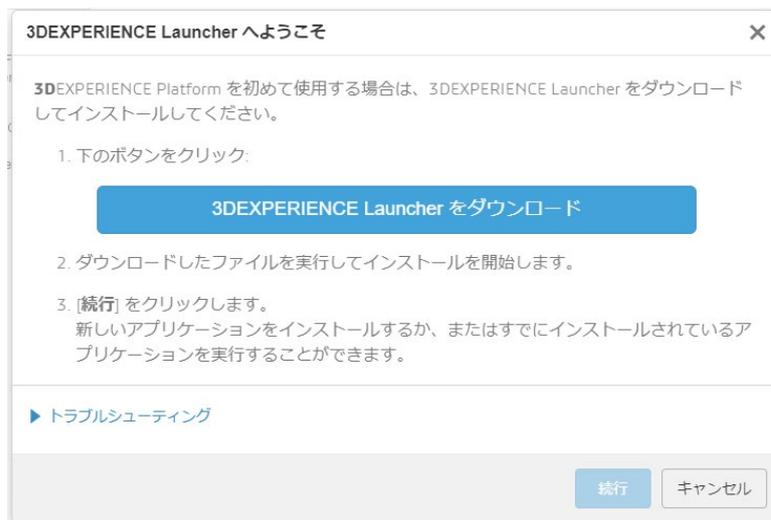
- 1) 3DEXPERIENCE プラットフォームにログイン後、画面左上のコンパス（丸いアイコン）をクリックしてください。3DEXPERIENCE SOLIDWORKS ロールをお持ちの方は、マイロールの下にある「3DEXPERIENCE SOLIDWORKS」のアイコンをクリックし、その後「SOLIDWORKS Connected」のアイコンをクリックしてください。



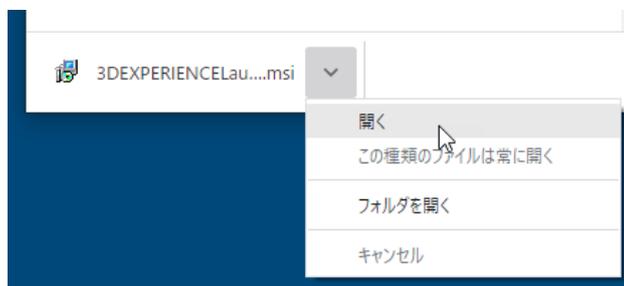
デスクトップ版 SOLIDWORKS と Collaborative Designer for SOLIDWORKS ロールをお持ちの方は「Collaborative Designer for SOLIDWORKS」のアイコンをクリックし、その後、「Design with SOLIDWORKS」のアイコンをクリックしてください。



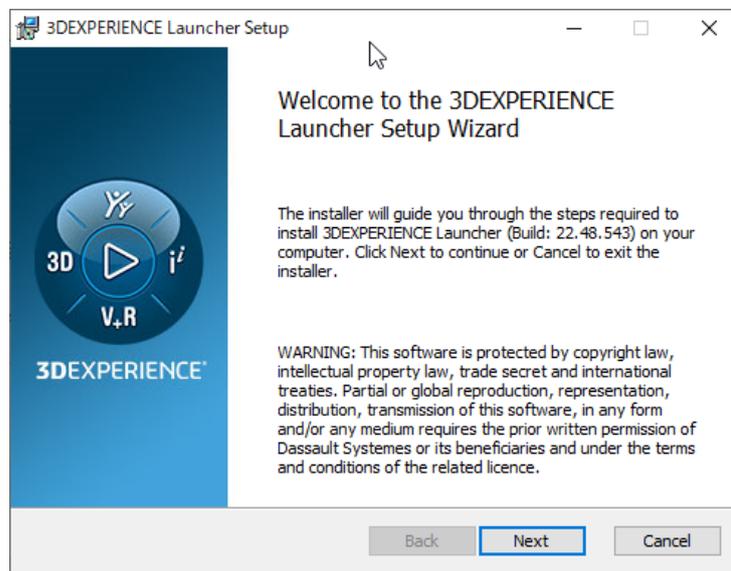
2) 以下のダイアログが表示されますので、「3DEXPERIENCE Launcher をダウンロード」をクリックしてください。



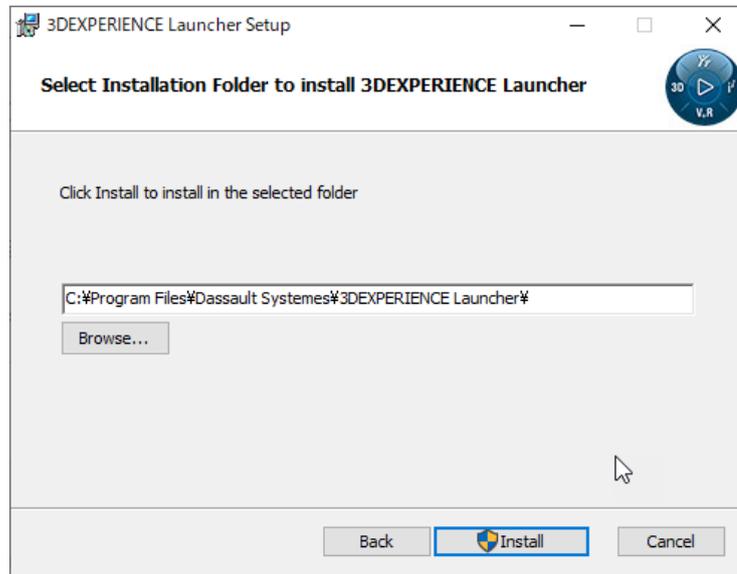
3) 3DEXPERIENCELauncher.msi ファイルがダウンロードされますので、実行してください。Web ブラウザから「開く」でも実行できます。



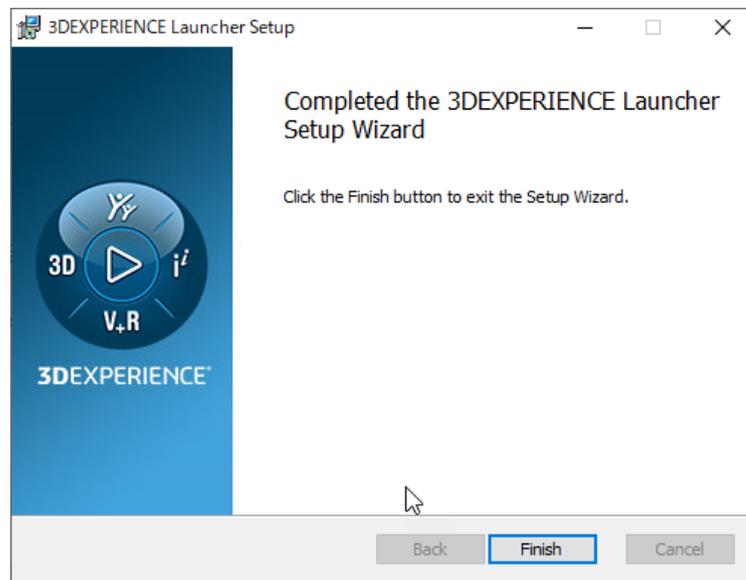
4) 3DEXPERIENCE Launcher のインストーラが起動しますので、「Next」をクリックしてください。



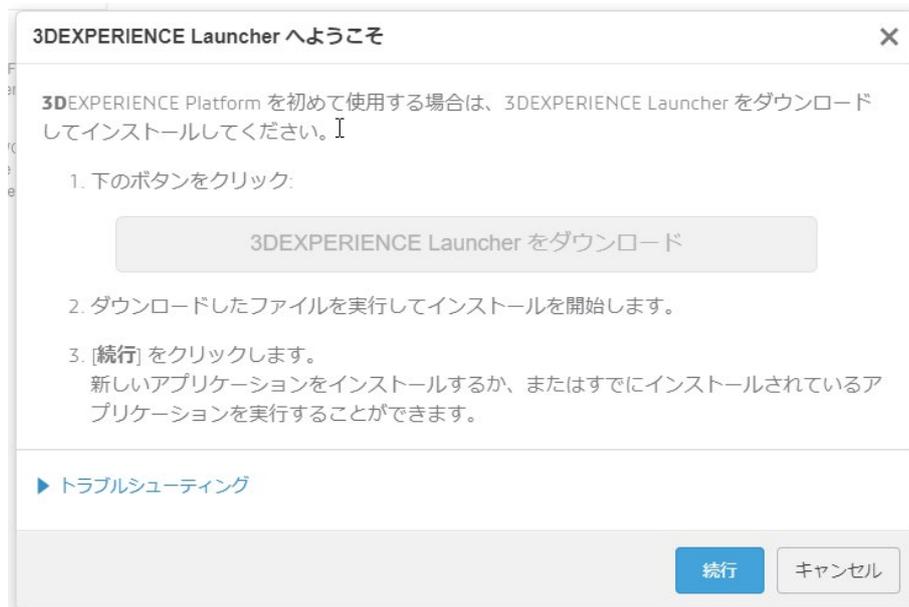
5) インストール場所を確認して「Install」をクリックしてください。



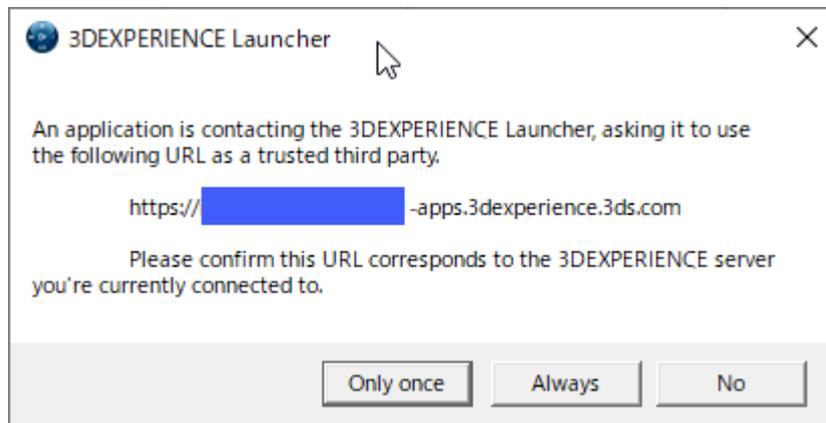
6) 3DEXPERIENCE Launcher のインストールが完了したら「Finish」をクリックしてください。



7) 3DEXPERIENCE Launcher のインストールが完了すると、グレイアウトされていた「続行」が青色に表示されます。「続行」をクリックするとネイティブアプリのインストーラが起動します。



- 8) インストーラの起動に際して次のようなダイアログが表示された場合は、https://に続く部分（下図では青色の四角）が、3DEXPERIENCE プラットフォームにアクセス中の Web ブラウザの URL と同じであることを確認してから、「Always」をクリックしてください。



2. Design with SOLIDWORKS または SOLIDWORKS Connected のインストール

1) 続いて次のようなダイアログが表示されます。

「Design with SOLIDWORKS を含むすべてのロールをインストール」 または

「SOLIDWORKS Connected を含むすべてのロールをインストール」 をクリックしてください。

上の「すべての許可されたロールをインストール」をクリックすると、付与されたすべてのロールのネイティブ・アプリケーションがインストールされます。



2) インストーラが起動しますので、「次へ」をクリックしてください。



3) 製品をご購入前にクラウド適正ツールを実行して貴社環境が 3DEXPERIENCE プラットフォームと互換性があることを確認済としますので、その場合はそのまま「次へ」をクリックしてください。



4) インストール場所を確認して「次へ」をクリックしてください。



以降から Design with SOLIDWORKS と SOLIDWORKS Connected ではインストール手順が異なります。

- Design with SOLIDWORKS は [2-1. Design with SOLIDWORKS のインストール](#)
- SOLIDWORKS Connected は [2-2. SOLIDWORKS Connected のインストール](#)

をご確認ください。

2-1. Design with SOLIDWORKS のインストール

5) 使用する言語を確認されます。言語を選択して「次へ」をクリックしてください。



6) 「インストール」をクリックしてください。



7) インストールが完了したら「閉じる」をクリックしてください。



8) インストール後に再びコンパスから[Design with SOLIDWORKS]をクリックすると、SOLIDWORKS が起動します。

2-2. SOLIDWORKS Connected のインストール

- 5) SOLIDWORKS Connected に Simulation 製品をアドインする場合、SOLIDWORKS アドインのインストール(オプション)にてアドインする製品を選択し、「次へ」をクリックしてください。
アドインしない場合はそのまま「次へ」をクリックし、[手順 8](#) へ進んでください。



- * SolidNetWork ライセンス (SNL)、スタンドアロンライセンスのいずれも対象になります。
- * SOLIDWORKS Flow Simulation のアドインには Electrical モジュールと HVAC モジュールも含まれます。

- 6) アドインを選択した Simulation 製品のシリアル番号を入力してください。



- * 製品のシリアル番号については、貴社ご担当者様へご確認ください。

- 7) 前項にて SolidNetWork ライセンス (SNL)のシリアル番号を入力した場合、SNL サーバーのポート番号とサーバー名を指定してください。

- * スタンドアロンライセンスのシリアル番号を入力した場合は、本画面は表示されません。



8) 使用する言語を確認されます。言語を選択して「次へ」をクリックしてください。



9) Toolbox と穴ウィザードをインストールする場所を確認されます。確認の上、「次へ」をクリックしてください。



10) 入力情報を確認し、「インストール」をクリックしてください。



11) インストールが完了したら「閉じる」をクリックしてください。



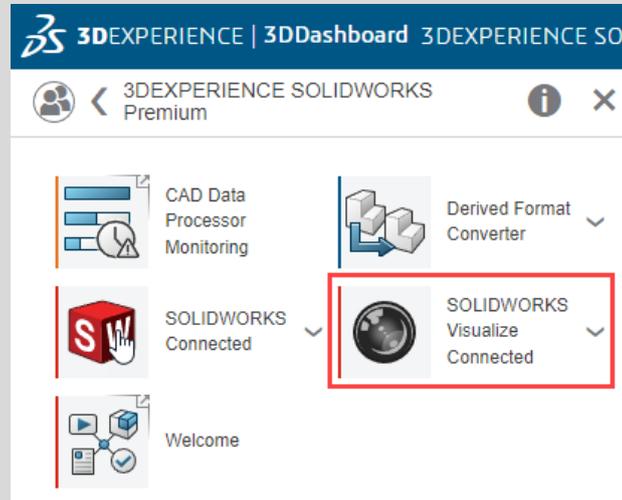
12) インストール後に再びコンパスから「SOLIDWORKS Connected」をクリックすると、SOLIDWORKS が起動します。

Simulation 製品のライセンスアクティブ化は [3 章 Simulation 製品のライセンスアクティブ化](#)をご確認ください。

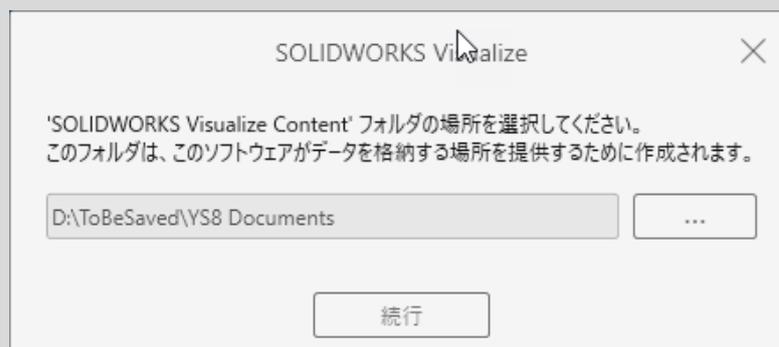
<補足 1> SOLIDWORKS Visualize Connected

3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Professional および Premium では、SOLIDWORKS Connected と同時に、SOLIDWORKS Visualize Connected もインストールされています。

「SOLIDWORKS Visualize Connected」をクリックすると SOLIDWORKS Visualize Connected が起動します。



最初に起動するときに次のダイアログが表示されますので、データの格納場所を確認ください。



<補足 2> インストール後に Simulation 製品をアドインする方法

R2024xFD03 時点ではインストール後の追加アドインができないため、一度 SOLIDWORKS Connected をアンインストールし、再度 SOLIDWORKS Connected をインストールしていただく必要がございます。

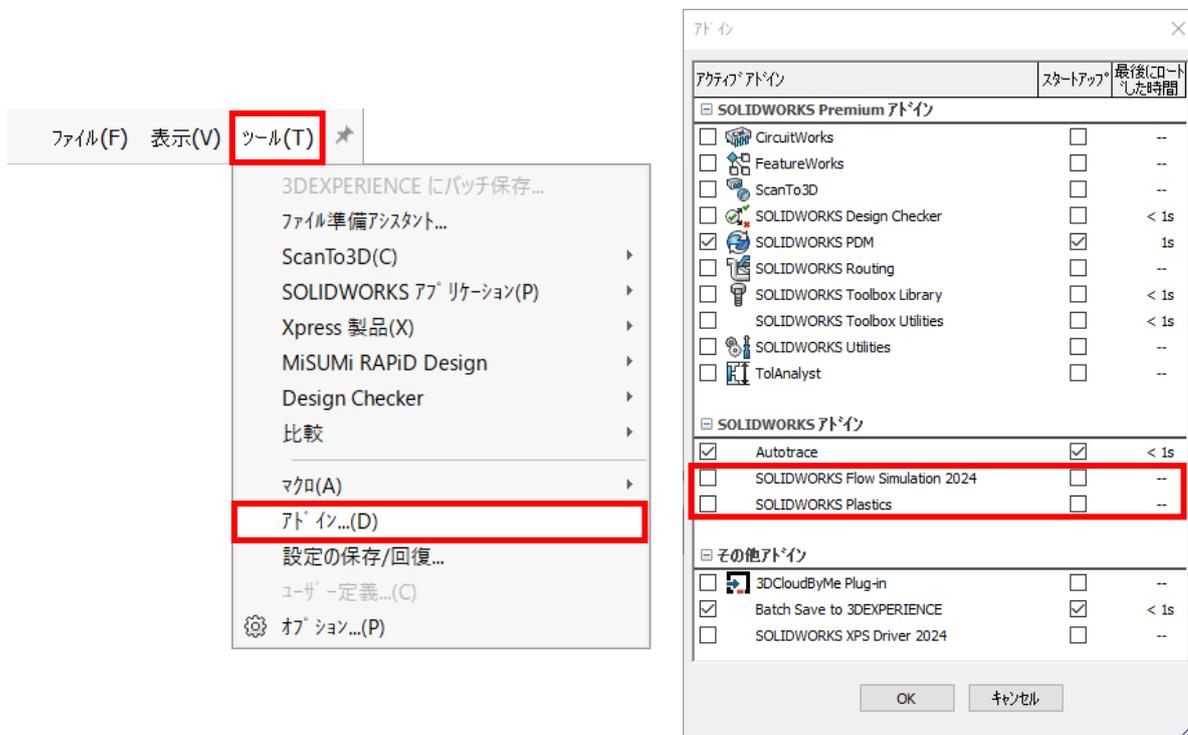
アンインストール手順の詳細は SOLIDWORKS Web ヘルプ(<https://help.solidworks.com/HelpProducts.aspx>) 下記ページをご確認ください。

SOLIDWORKS Connected (3DEXPERIENCE SOLIDWORKS) > 3DEXPERIENCE Platform での作業 > インストレーション > SOLIDWORKS Connected のインストール > [SOLIDWORKS Connected のアンインストール](#)

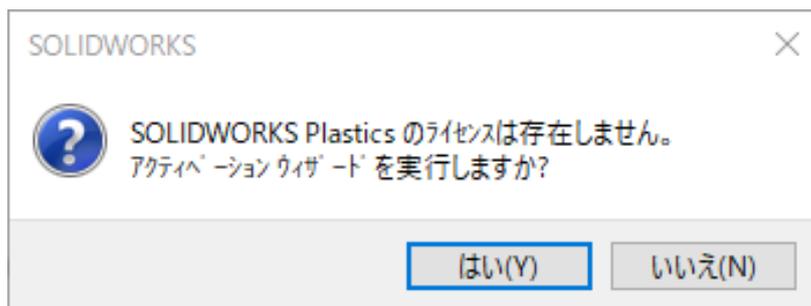
3. Simulation 製品のライセンスアクティブ化

前章 2-2. [SOLIDWORKS Connected のインストール](#)にて Simulation 製品のアドインをした場合のみ、以下の手順を行ってください。Simulation 製品のアドインをしていない場合は本章の手順を行う必要はございません。

- 1) SOLIDWORKS Connected 起動後、アドインオプションを開いてください。SOLIDWORKS アドインにインストール時に選択した製品が表示されています。



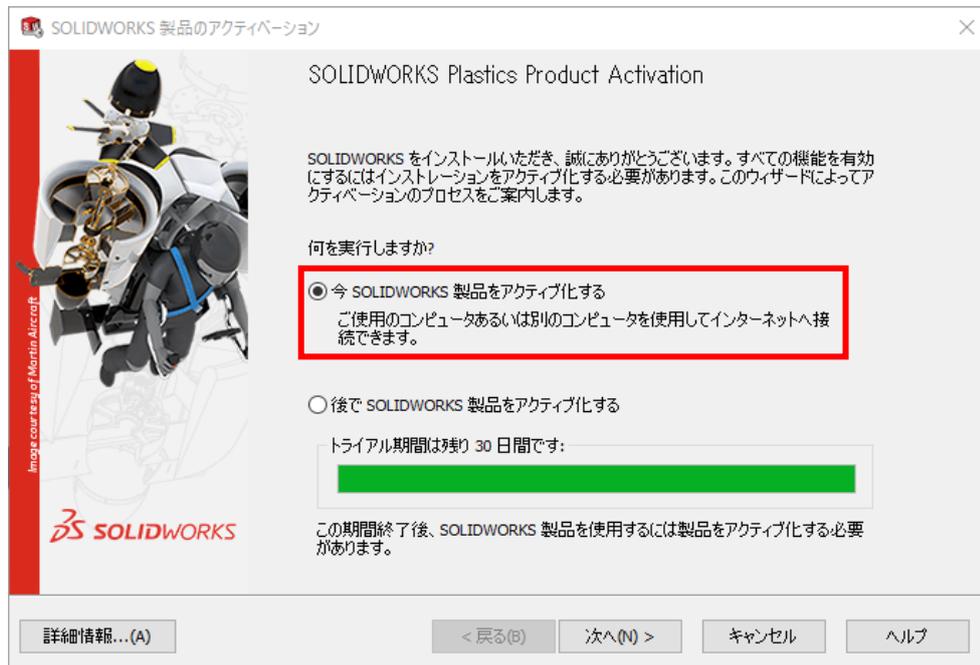
- 2) 当該製品のアクティブ アドインにチェックを入れて「OK」で画面を閉じるとライセンスのアクティベーション実行を問う画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



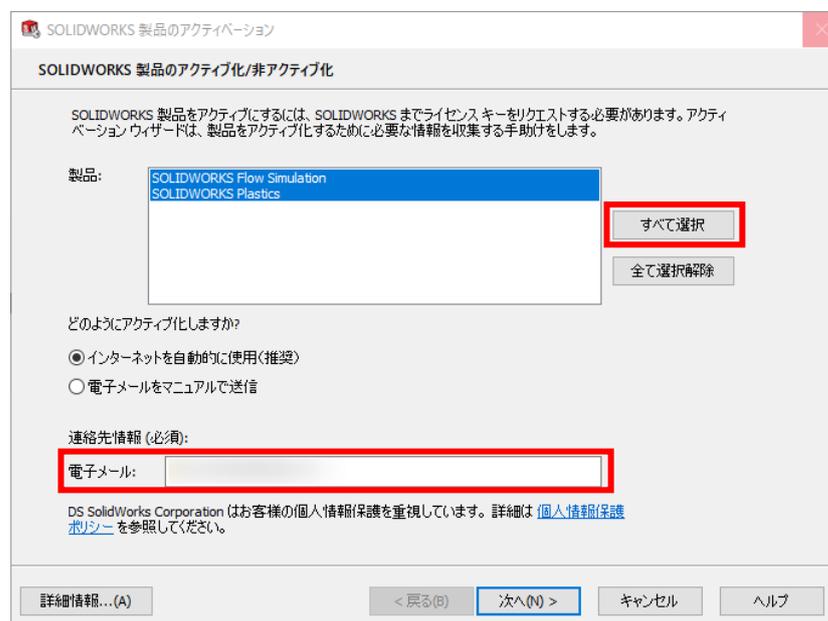
* ここで「いいえ(N)」をクリックし、後日ライセンスのアクティベーションを行う場合はヘルプメニューから同様の操作が可能です。



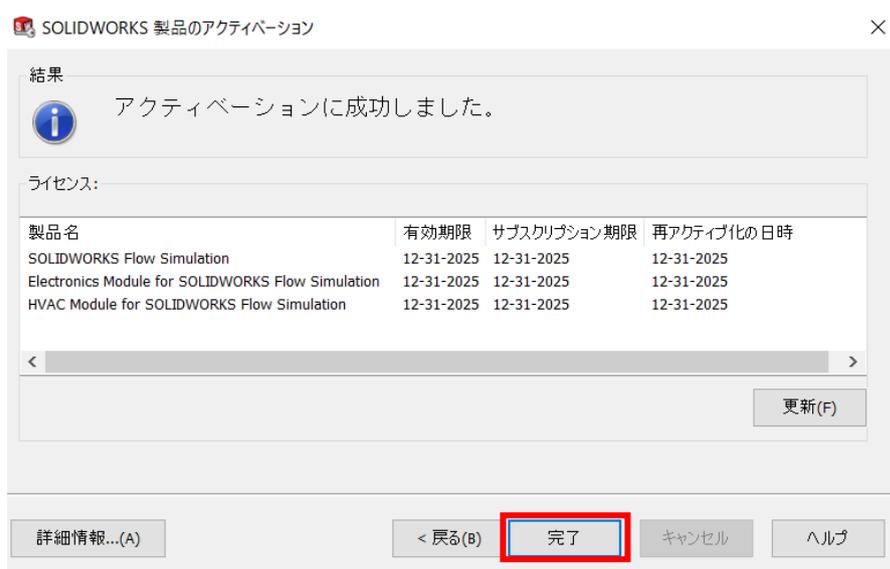
3) 「今 SOLIDWORKS 製品をアクティブ化する」を選択し、「次へ(N)」をクリックしてください。



4) 製品項目にて「すべて選択」もしくはアクティブ化したい製品のみを選択し、電子メール情報を入力して「次へ(N)」をクリックしてください。



5) アクティベーションに成功しました。のメッセージが表示されれば、無事アクティベーションは完了になります。

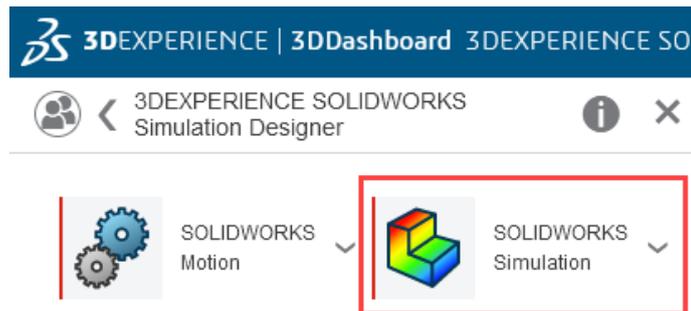


4. SOLIDWORKS Simulation のインストール

本章は 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Premium Offer をご購入いただいたお客様向けの SOLIDWORKS Simulation のインストール手順になります。

3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Premium Offer 製品には、3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Simulation Designer ロールが含まれ SOLIDWORKS Motion、SOLIDWORKS Simulation の利用が可能です。

- 1) 3DEXPERIENCE プラットフォームにログイン後に画面左上のコンパスをクリックし、次いでマイロールの下にある「3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Simulation Designer」のアイコンをクリックしてください。その後、「SOLIDWORKS Simulation」をクリックしてください。



- 2) 既に 3DEXPERIENCE Launcher をインストール済の場合は、3DEXPERIENCE Launcher のダウンローダーは起動しません。次のダイアログが表示されますので「SOLIDWORKS Simulation を含むすべてのロールをインストール」をクリックしてください。



- 3) 「次へ」をクリックしてください。



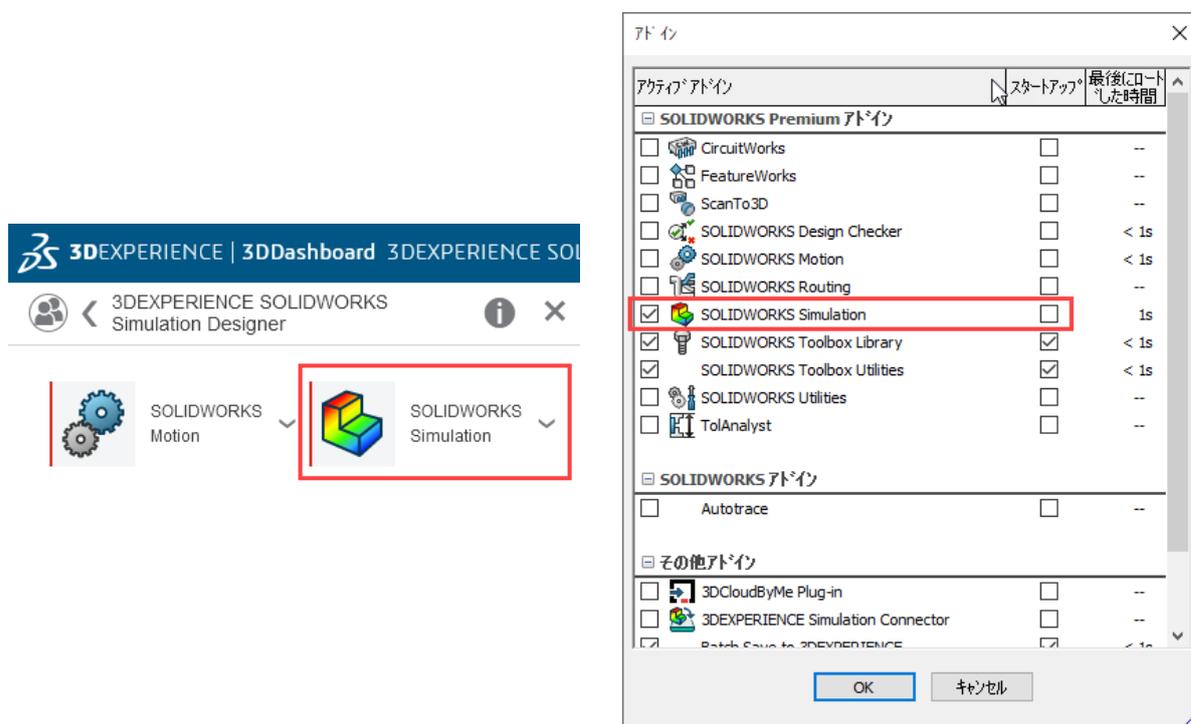
4) 「インストール」をクリックしてください。



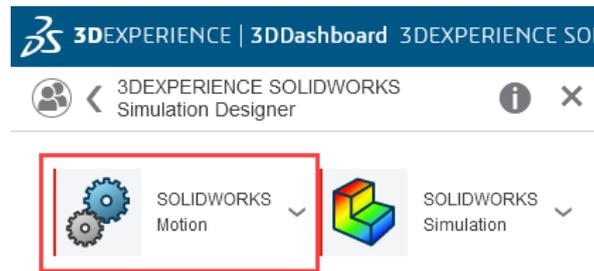
5) インストールが完了したら「閉じる」をクリックしてください。



6) SOLIDWORKS Simulation は SOLIDWORKS Connected のアドインです。インストール後に再び SOLIDWORKS Simulation アイコンをクリックすると、SOLIDWORKS Connected が起動し、アドインを確認すると SOLIDWORKS Simulation が含まれ、チェックが付いて使える状態になっています。

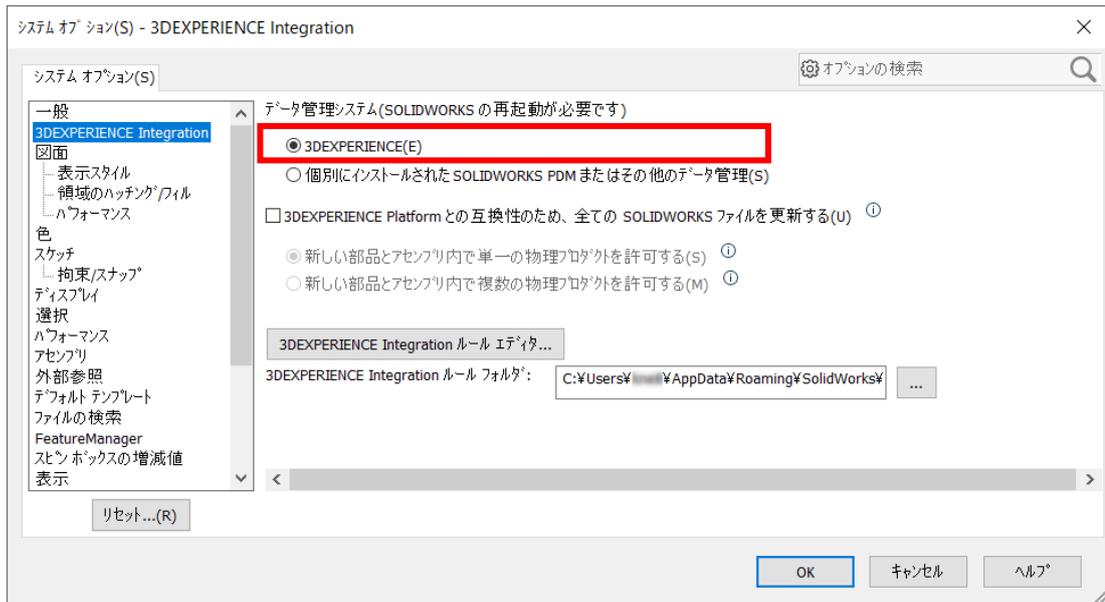


- 7) SOLIDWORKS Simulation と同時に、SOLIDWORKS Motion もインストールされています。
SOLIDWORKS Motion アイコンをクリックすると、SOLIDWORKS Connected が起動し、アドインを確認すると SOLIDWORKS Motion が含まれ、チェックが付いて使える状態になっています。

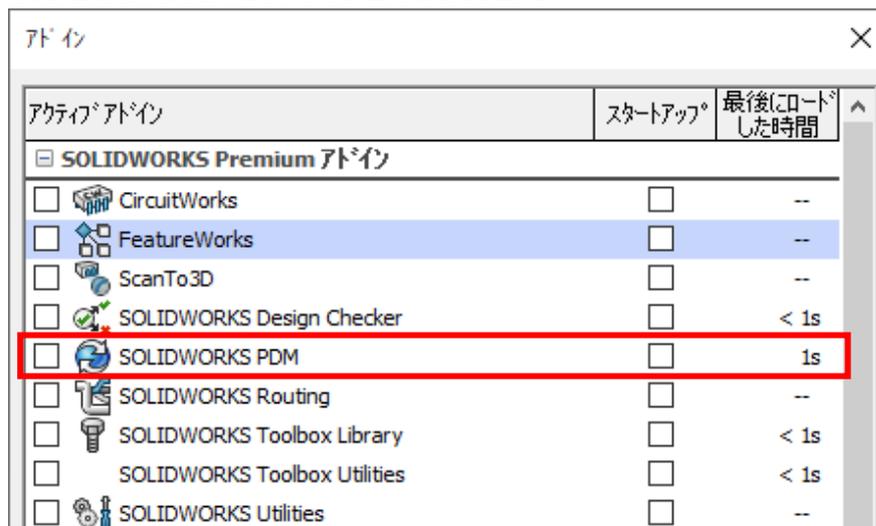


5-2. 3DEXPERIENCE platform 上のデータ運用を考えている場合

1) システムオプションにて「3DEXPERIENCE(E)」を選択



2) PDM 環境がセットアップされている場合は、アドインを外してください。



-以上

「共有とマークアップ」利用ガイド

SOLIDWORKS を 3DEXPERIENCE プラットフォームに接続し、“共有とマークアップ”を始めてみましょう。SOLIDWORKS から直接、誰とでも設計データを手軽に共有でき、フィードバックを得て設計に反映することができます。また、設計ファイル共有にもご利用頂け、従来のメールやクラウドストレージでのファイル共有に要していた手間や時間を削減できます。

ここでは、“共有とマークアップ”の利用に必要な設定、作業フロー、使い方を紹介します。

“共有とマークアップ”のイメージ



 **YouTube**でも動画で“共有とマークアップ”の利用方法を紹介していますので、是非ご視聴ください。

https://youtu.be/t-uvae9_rxk?si=kallUAcl1b8s2epK



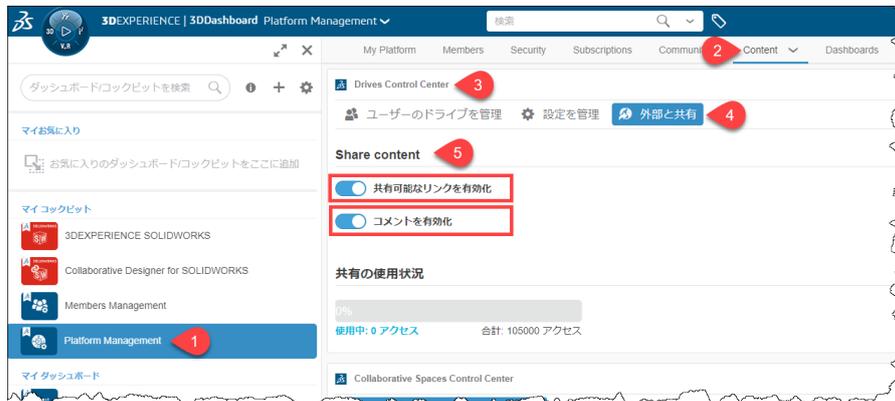
1. 共有とマークアップに必要な設定

共有とマークアップを開始するには、3DEXPERIENCE プラットフォーム設定やアプリケーションインストールが必要です。次の3項目を確認し、必要に応じて作業を実施してください。

1) プラットフォーム管理者により、次のオプションが有効化されている必要があります。

※本オプションは、プラットフォーム管理者のみ、確認・変更が可能です。

Platform Management ダッシュボード > Content > Drives Control Center > 外部と共有 > Share content



共有可能なリンクを有効化 : プラットフォームメンバー以外の外部ユーザーとファイルのリンクを共有することを許可する。

コメントを有効化 : 共有したファイルに対し、プラットフォームメンバー以外の外部ユーザーがコメントを入力することを許可する。

※通常これらのオプションはデフォルトで OFF に設定されています。

2) ファイルを共有するユーザーは、次のライセンス(ロール)が必要です。

- 3DSwymer
- Collaborative Industry Innovator
- Collaborative Designer for SOLIDWORKS または 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS

※ファイルを共有される側のユーザーにライセンス(ロール)は不要です。

3) ファイルを共有するユーザーの PC に、次のいずれかのアプリケーションがインストールされている必要があります。

- SOLIDWORKS 2023 SP3.0 以降 + Design with SOLIDWORKS
- 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS

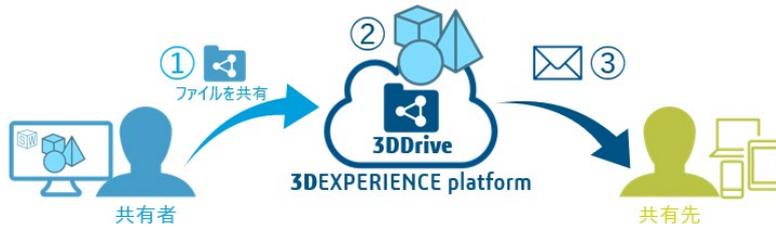
2. 共有とマークアップの流れ

本章では、共有とマークアップ作業の流れについて説明します。

共有とマークアップは大きく3つのステップに分かれます。

ステップ1 - 共有する

- ① 共有者は SOLIDWORKS の“ファイルを共有”コマンドで設計情報を共有します。
- ② 共有ファイルが 3DEXPERIENCE プラットフォームの 3DDrive に保存されます。
- ③ また、共有先として入力したメールアドレスの方宛に Email が送信されます。



ステップ2 - 共有ファイルへのアクセスとマークアップ

- ① 共有先の方は、Email 内のリンクをクリックすると、インターネットブラウザが起動して共有されたファイルにアクセスできます。
- ② ブラウザでは、マークアップやコメント機能を使ってフィードバックを行うことができます。(共有されたファイルのダウンロードも可能です。)
- ③ マークアップやコメントが行われると、共有者に通知が送信されます。



ステップ3 - マークアップ内容を確認する

- ① 受信した通知をクリックし、3DDrive アプリを起動します。
- ② マークアップやコメントによるフィードバック内容を確認します。
- ③ 必要に応じてコメントを返信できます。



3. 共有とマークアップの使い方

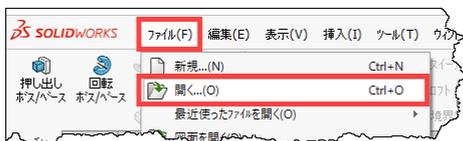
ステップ 1 - 共有する

- 1) 3DEXPERIENCE ID とパスワードを入力し、3DEXPERIENCE プラットフォームにログインします。
- 2) ①コンパスをクリックし、②Design with SOLIDWORKS または SOLIDWORKS Connected を起動します。



△ Design with SOLIDWORKS をご利用の際は、SOLIDWORKS 2023 SP3.0 以降のバージョンがインストールされている必要があります。

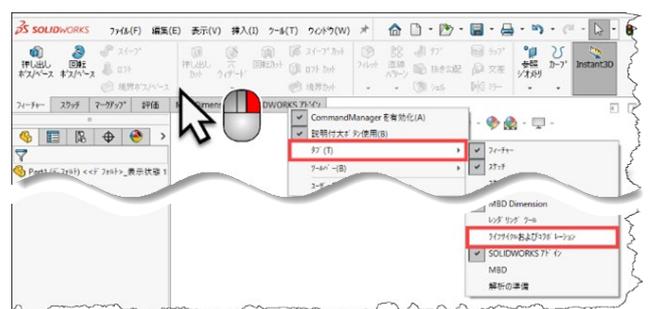
- 3) 共有したいファイルを **ファイル > 開く** より開きます。



- 4) コマンドマネージャーのライフサイクルおよびコラボレーションタブより、**共有**をクリックします。



ライフサイクルおよびコラボレーションタブが表示されていない場合は、コマンドマネージャー上でマウス右ボタンをクリックし、タブ > ライフサイクルおよびコラボレーションの順で選択して、タブを表示します。



5) 共有ダイアログで、**ファイルタイプ**をリストより選択します。



SOLIDWORKS の各ファイルで、次の共有ファイル形式を選択できます。

- 部品ファイル : 3DXML、SLDPRT、PDF、STEP AP203/214、STL、IGES
- アセンブリファイル : 3DXML、SLDASM(ZIP 形式)、PDF、STEP AP203/214、STL、IGES
- 図面ファイル : PDF、DXF、DWG、PNG

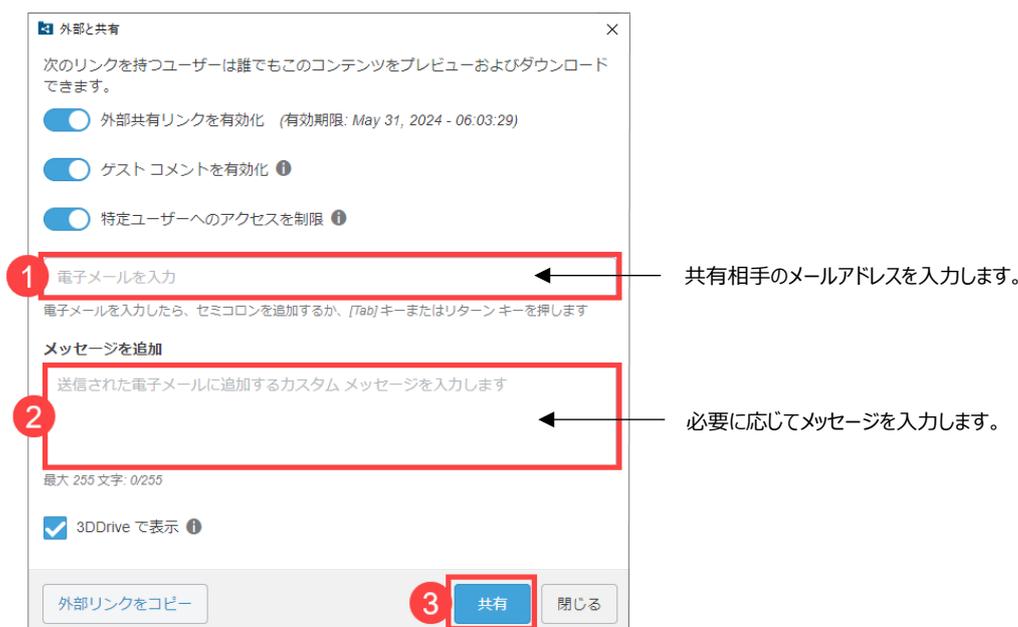
💡 部品やアセンブリファイルをビューイングのみでご利用になられる際は、3DXML 形式を選択することをお勧めします。(ファイルサイズが小さくなるため)

⚠️ 3D モデルに付加された DimXpert 寸法や注記は、プレビュー表示されません。

6) **アップロード**をクリックします。



7) 外部と共有ダイアログで①と②の入力を行い、③**共有**をクリックします。

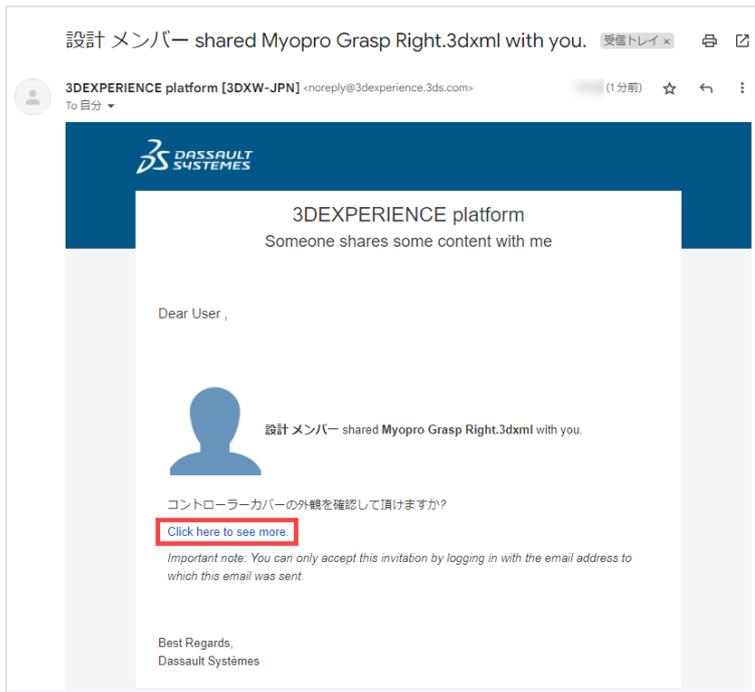


※共有が行われると、プラットフォームから共有相手に Email が送信されます。

以上で共有作業は完了です。

ステップ 2 - 共有ファイルへのアクセスとマークアップ

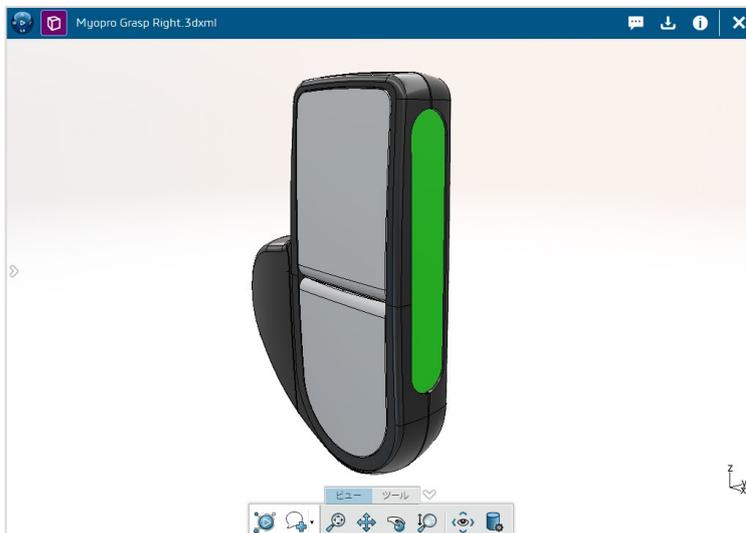
- 1) 受信したメール(件名:送信者 shared ファイル名 with you.)内の **Click here to see more** をクリックします。



- 2) ブラウザに 3DEXPERIENCE platform のログイン画面が表示されたら、**3DEXPERIENCE ID** とパスワードを入力してログインします。

※3DEXPERIENCE ID をお持ちでない場合は、“3DEXPERIENCE ID を作成” から ID を作成してください。

ログインすると、3DDrive のプレビューアプリに共有されたデータが表示されます。



- 3) データの確認・マークアップ・コメント

■ マウス表示操作

- 🔄 回転 : マウス左ボタンのドラッグ
- 🔍 拡大/縮小 : スクロール or マウス左ボタンのドラッグ
- 👉 パニング : マウス中ボタン(スクロール)のドラッグ

■ コマンド表示操作 [ビュー]タブ

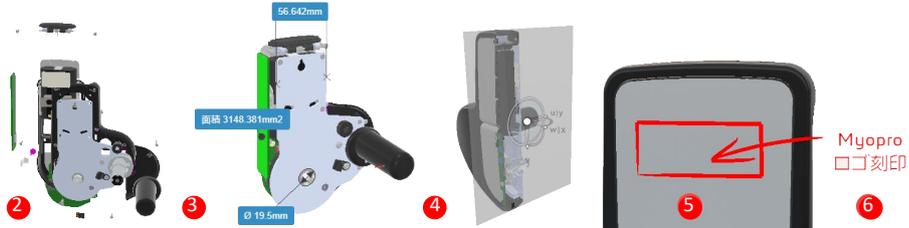


- ① 全体表示
- ② パニング
- ③ 回転
- ④ 拡大縮小
- ⑤ 標準ビュー
- ⑥ ビューモード

■ マークアップ・コメント操作 [ツール]タブ



- ① 非表示/表示 : 選択したモデルの表示状態を切替えます。
- ② 展開 : アセンブリモデルを展開します。
- ③ 測定 : モデルの距離、角度、面積などを測定し、測定結果を作成します。
- ④ クリッピングを活性化 (断面表示) : 断面表示を行います。
- ⑤ 注釈 (手書き) : 手書きによるマークアップを作成します。
- ⑥ テキスト注釈 : テキスト注釈を作成します。



■ 右上メニュー



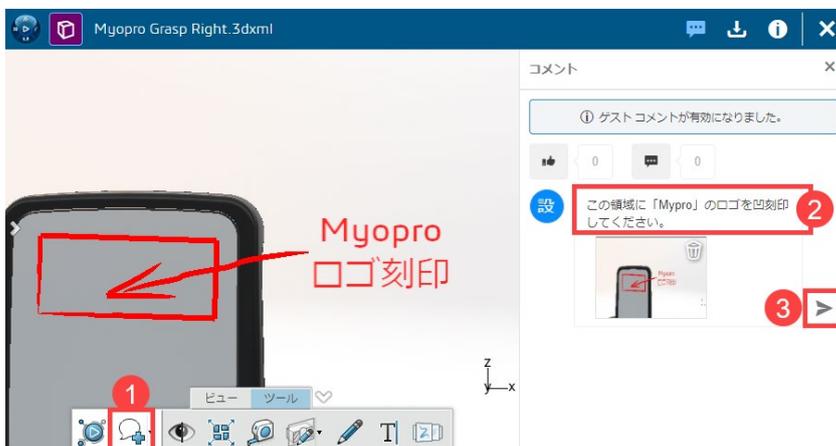
- ① コメント : コンテンツにコメントを追加します。
- ② ダウンロード : ファイルを指定したローカルフォルダにダウンロードします。
- ③ 情報 : ファイルの情報を確認できます。
- ④ 閉じる : プレビューウィンドウを閉じます。

4) キャプチャ付きコメントの作成

キャプチャしたいマークアップやコメントが表示された状態で、①**コメントとして共有**をクリックします。

コメント欄にキャプチャ画像が追加されます。

②**コメント**を入力し、③**送信**をクリックします。



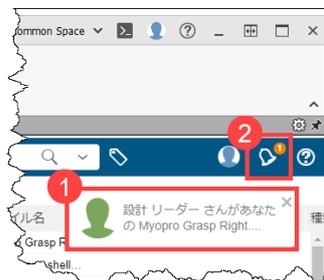
※共有者にキャプチャ付きコメントが作成されたことが通知されます。

ステップ3 - マークアップ内容を確認する

- 共有先のユーザーがコメントを送信すると通知を受けます。

SOLIDWORKS でマークアップ内容を確認するには、①通知メッセージをクリックするか、②通知アイコンをクリックします。

ブラウザで通知内容を確認するには、ダッシュボード右上の③通知アイコンをクリックします。

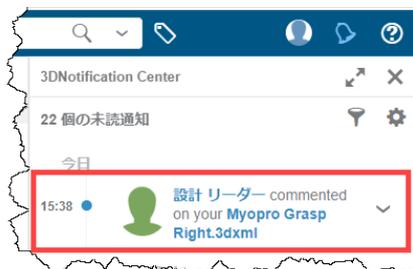


SOLIDWORKS



ブラウザ

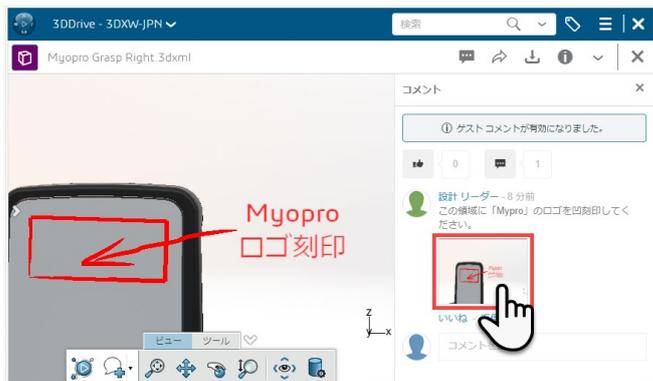
- 3DNotification Center に表示される通知リストより、共有ファイルの通知をクリックします。



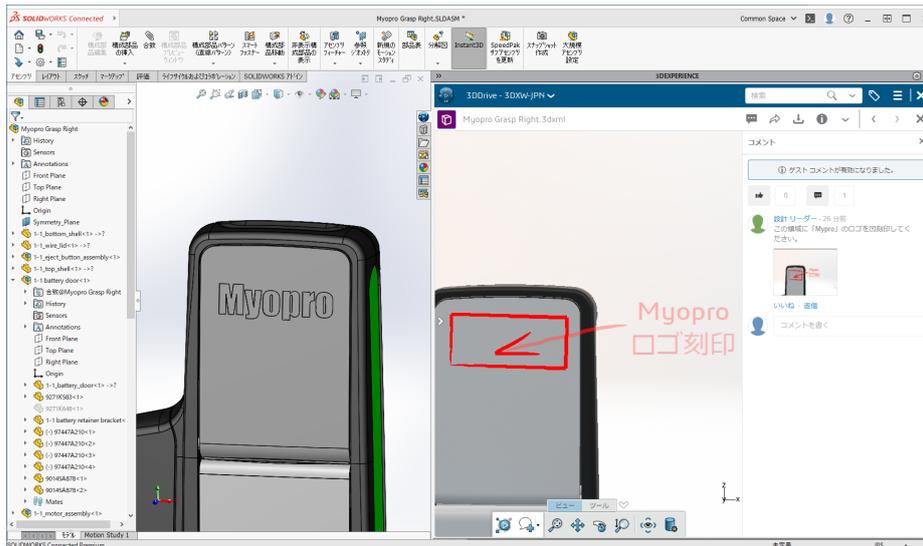
- 3DEXPERIENCE タスクパネルに 3DDrive アプリが表示され、プレビューとコメントを確認できます。



- コメントの詳細を確認する際は、コメント内のサムネイル画像をクリックすると表示が切り替わります。

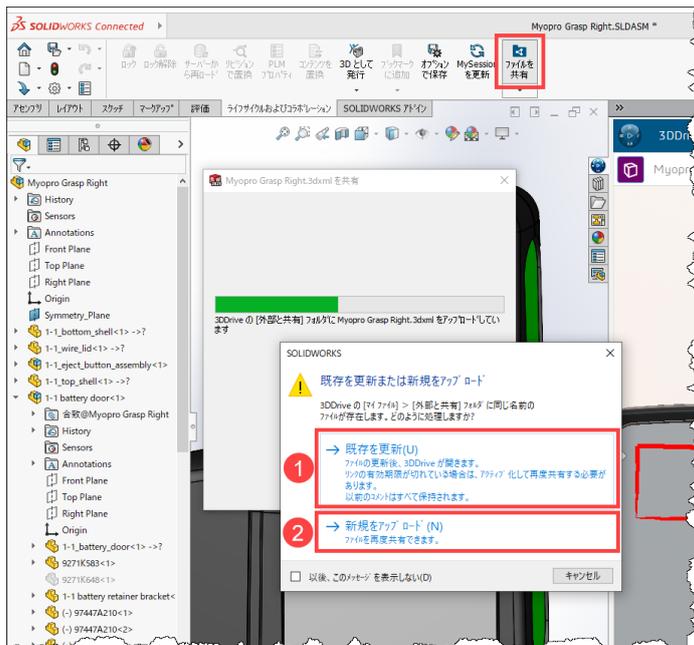


5) マークアップやコメントを確認しながら設計データにフィードバックできます。



6) 設計ファイルへのフィードバックが完了したら、再度ファイルを共有してフィードバックを得ることもできます。

ファイルを共有をクリックすると、既存を更新または新規をアップロードダイアログが表示されるので、①**既存を更新**、②**新規をアップロード** いずれかのオプションを選択してください。

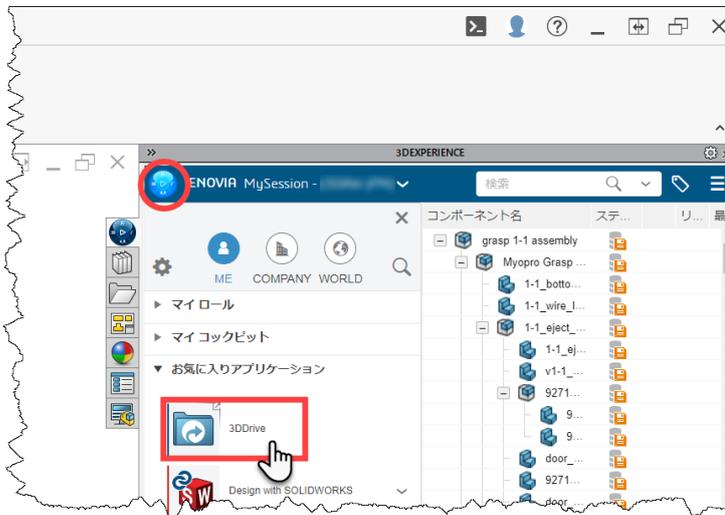


その他の操作

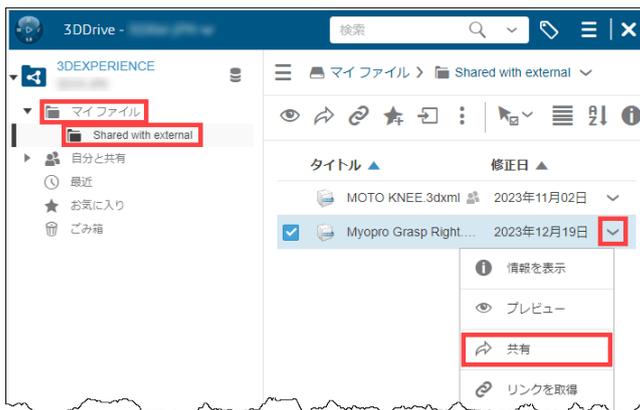
共有ファイル操作 1 - 共有メンバーの追加と削除

共有メンバーの追加と削除は、ブラウザ、SOLIDWORKS どちらからでも行えます。

- 1) コンパスから 3DDrive アプリを起動します。



- 2) マイファイルフォルダを展開し、Shared with external フォルダをクリックして表示します。
- 3) 共有メンバーを編集するファイルの V をクリックし、共有をクリックします。



- 4) 外部と共有タブを選択します。



■メンバーの削除

▼許可リストをクリックし、表示されるリストから、削除するメンバー横の①🗑️をクリックします。

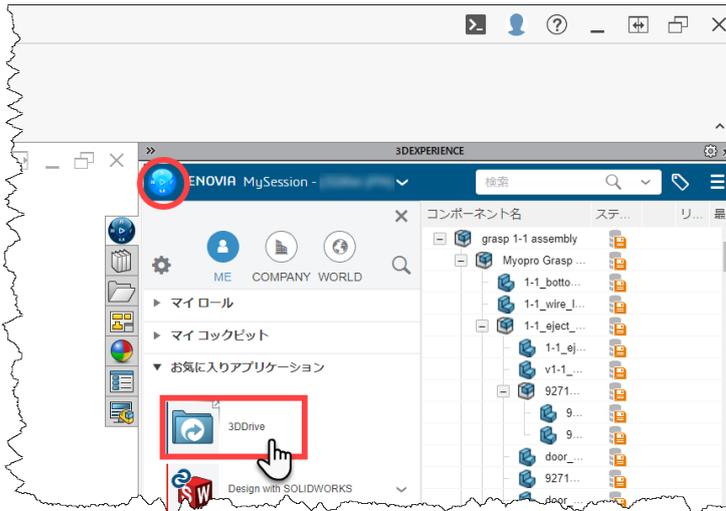
■メンバーの追加

電子メールを入力欄に追加メンバーのメールアドレスを入力し、②共有をクリックします。

共有ファイル操作 2 - 共有ファイルの削除

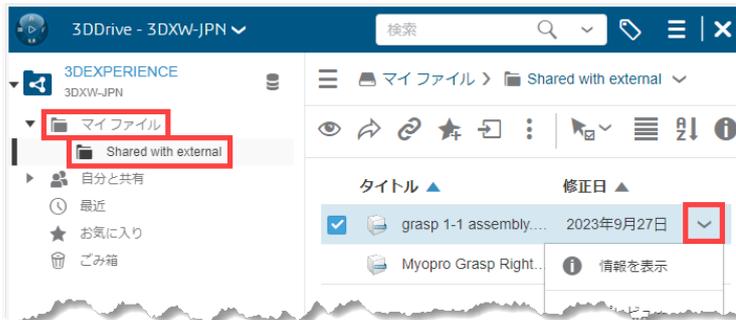
共有メンバーの追加と削除は、ブラウザ、SOLIDWORKS どちらからでも行えます。

1) コンパスから 3DDrive アプリを起動します。



2) マイファイルフォルダを展開し、Shared with external フォルダをクリックして内容を表示します。

3) 共有メンバーを編集するファイルの V をクリックし、削除をクリックします。



—以上